SONY

2-108-095-02(1)

サラウンドマイクロホン
Surround Microphone

取扱説明書
Operating Instructions
Mode d'emploi
Bedienungsanleitung
Manual de instrucciones
Gebruiksaanwijzing
Bruksanvisning
Istruzioni per l'uso
Manual de instruções
Инструкция по эксплуатации
使用說明書
使用说明书
작동 지침서
تعليمات التشغيل

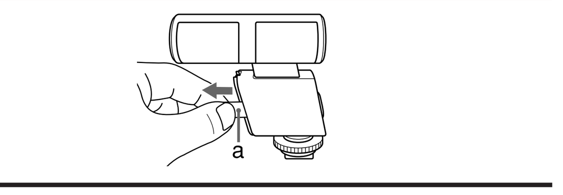
お買い上げいただきありがとうございます。

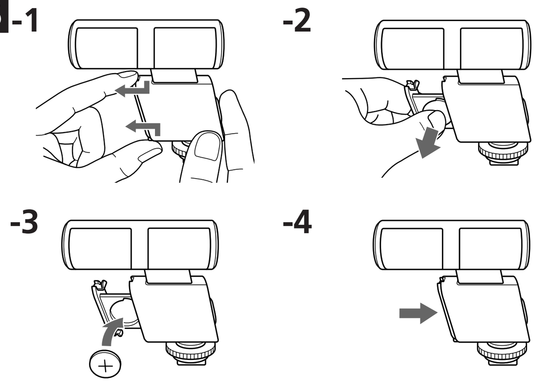
⚠警告 電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

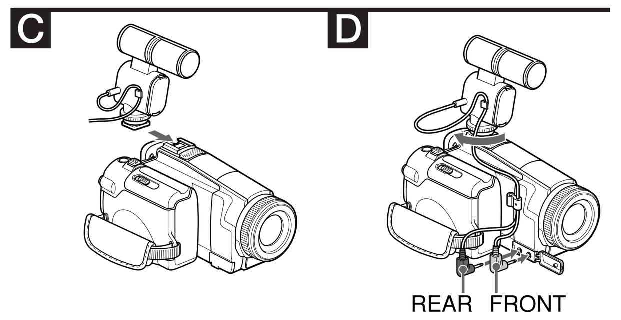
この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。この取扱説明書をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

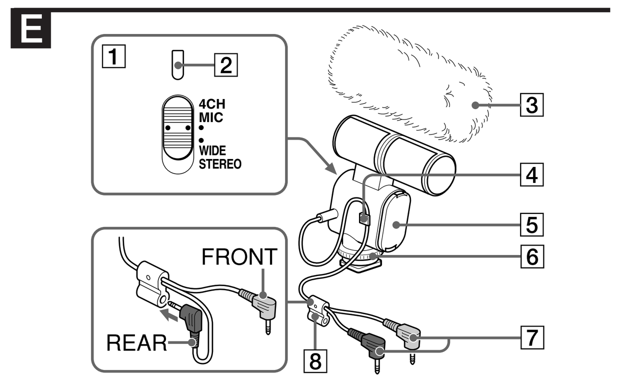
ECM-CQP1

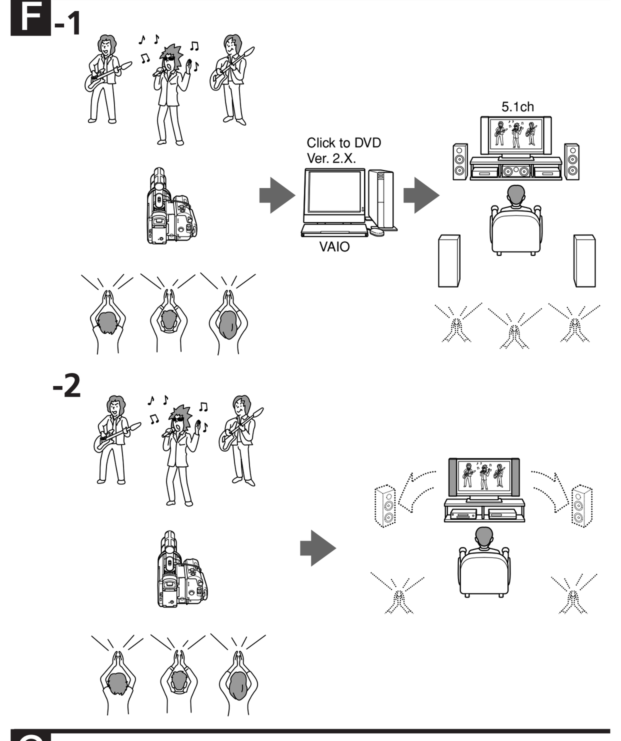
©2004 Sony Corporation Printed in Japan

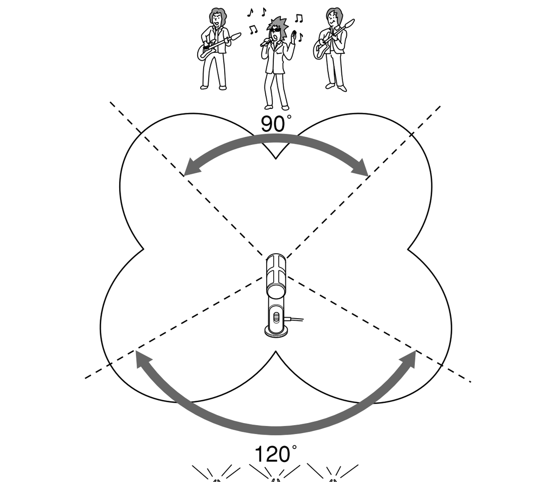
A


B


C D


E


F


G


http://www.sony.net/

この説明書は100%古紙再生紙とVOC（揮発性有機化合物）ゼロ植物油型インキを使用しています。
Printed on 100% recycled paper using VOC (Volatile Organic Compound)-free vegetable oil based ink.

日本語

⚠警告 安全のために

ソニー製品は安全に充分配慮して設計されています。しかし、電気製品はすべて、まちがった使いかたをすると、火災などにより人身事故になることがあり危険です。事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。

- **安全のための注意事項を守る**
この「安全のために」の注意事項をよくお読みください。
- **故障したら使わない**
動作がおかしくなったり、コードなどが破損しているのに気づいたら、すぐにお買い上げ店またはテクニカルインフォメーションセンターに修理をご依頼ください。
- **万一、異常が起きたら**

変な音・においがしたら、煙が出たら ➡ ① マイク端子からプラグを抜く ② 電池を取り出す ③ お買い上げ店またはテクニカルインフォメーションセンターに修理を依頼する

警告表示の意味
取扱説明書および製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠警告 この表示の注意事項を守らないと、火災・感電などにより死亡や大けがなど人身事故の原因となります。

⚠注意 この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。

注意を促す記号	行為を禁止する記号
火災　感電	禁止　分解禁止

⚠警告 下記の注意事項を守らないと、火災・感電により大けがの原因となります。

内部に水や異物を入れない
水や異物が入ると火災や感電の原因となります。万一、水や異物が入ったときは、すぐにスイッチを切り、電池を取り出して、お買い上げ店またはテクニカルインフォメーションセンターにご相談ください。 禁止

⚠注意 下記の注意事項を守らないと、けがをしたり周辺の家財に損害を与えることがあります。

内部を開けない
感電の原因となることがあります。
内部の点検や修理はお買い上げ店またはテクニカルインフォメーションセンターにご依頼ください。 分解禁止

湿気やほこり、油煙、湯気の多い場所や直射日光のあたる場所には置かない
故障の原因となります。 禁止

落としたりぶつけたりしない
故障の原因となります。 禁止

電池についての安全上のご注意

⚠警告 下記の注意事項を守らないと、火災・感電により死亡や大けがの原因となります。

- 指定された種類の電池を使用してください。
- 電池は、乳幼児の手の届かないところで保管・使用してください。
飲み込むと中毒を起こしたり、窒息するおそれがあります。もし、電池を飲み込んだときは、すぐに医師の治療を受けてください。
- 機器の表示に合わせて、⊕と⊖を正しく入れてください。
- 電極（⊕と⊖）を金属製品（ネックレスやヘアピンなど）でショート（短絡）させないでください。
また、金属製品といっしょに携帯、保管しないでください。
- 火のそばや直射日光のあたるところ、炎天下の車の中など高温の場所で使用、保管、放置しないでください。
- 釘をさしたり、カナヅチでたたいたり、踏みつけたりしないでください。
- 使用後、充電しないでください。
- 水などにぬらしたり、風呂場などの湿気の多いところで使わないでください。

⚠注意 下記の注意事項を守らないと、おもわぬけがをしたり周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。

- 電池を使い切ったとき、長期間使用しないときは取り出しておいてください。
- 使い切った電池を入れたままにしないでください。

主な特長

本機は、マイク端子と*アクセサリーシュー付きのビデオカメラレコーダーで使用できます。
- DCR-HC1000と組み合わせることで、サラウンドマイクロホンとして使用できます（4CHマイクモード使用時）。
- 一般的なビデオカメラレコーダー（2chステレオ記録用）と組み合わせて、広がり感のある記録ができます（WIDE STEREOモード使用時）。
- 本機は、ビデオカメラレコーダーに連動して電源がオンオフされます。プラグインパワーに対応していないビデオカメラレコーダーには使用できません。

* アクセサリーシューの搭載されていない機種でも、別売りのアクセサリーシューアダプター（VCT-55L）を取り付けることにより使用可能です。

取り扱い上のご注意

- マイクロホンは精密機器です。落としたり、たたいたり、強い衝撃を与えないでください。
- 高温多湿の場所での使用、保存は避けてください。
- 使用中、マイクロホンをスピーカーに近づけると"ピー"という音が発生することがあります（ハウリング現象）。その場合は、マイクロホンとスピーカーの距離をできるだけ離すか、スピーカーの音量を下げてください。
- 録音中にスイッチを切り換えると、ノイズが入ることがあります。
- バッテリーチェックランプは、電池の消耗を押さえるため一瞬だけ点灯してすぐ消えます。

ご使用の前に（イラストA参照）

出荷時にはすでに電池が装着されています。電池の消耗を防ぐために絶縁シート（a）が入れてありますので、抜いてからご使用ください。

電池の取り換えかた（イラストB参照）

1　バッテリーカバーの上下のツマミを押しながら、手前に引き出します。
2　電池の⊖面を押して取り出します。
3　⊕面を外側にして、電池をはめ込みます。
4　バッテリーカバーを「カチッ」と音がするまで本機に挿入します。

電池の交換時期
スイッチを切り換えたとき、バッテリーチェックランプが一瞬光ります。光りかたが暗かったり、光らなかったりした場合には電池を交換してください。付属のソニーリチウム電池CR2032では約100時間連続して使用できます。（使用条件により異なります。）
バッテリーチェック時、スイッチの切り換えは、2秒程度時間をおいてからおこなってください。

対応機器につなぐ（イラストC、D参照）

回転ノブを回してビデオカメラレコーダーのアクセサリーシューに取り付けてください（イラストD参照）。ビデオカメラレコーダーの電源がOFFになっていることを確かめてから、4CHマイクモード時はフロントマイクプラグ（赤）をFRONT（赤）端子に、リアマイクプラグ（黒）をREAR（黒）端子に接続してください。WIDE STEREOモード時は、フロントマイクプラグ（赤）のみFRONT（赤）端子に接続してください。（WIDE STEREOモード時はリアマイクプラグ（黒）はリアマイクプラグホルダーに収納してください。）（イラストE参照）

ご注意
マイクプラグは確実に奥まで差し込んでください。

各部の名称と使いかた（イラストE参照）

1 **モード切り換えスイッチ（イラストF参照）**
収音する対象により切り換えます。

4CH MIC	4CHマイク記録をするときに使用します（イラストF-1参照）。
WIDE STEREO	2ch音声記録時に広がり感のあるステレオ音声記録をするときに使用します（イラストF-2参照）。

- 4CHマイク モード
フロントマイクプラグ（赤）をビデオカメラレコーダーのFRONT（赤）端子に、リアマイクプラグ（黒）をREAR（黒）端子に接続してください。
画像編集ソフト"Click to DVD Ver.2.X"などをお使いになることにより、5.1chサラウンドDVDを作成することができます。
- WIDE STEREOモード
フロントマイクプラグ（赤）のみビデオカメラレコーダーのFRONT（赤）端子に接続してください。リアマイクプラグ（黒）は使用しません。**リアマイクプラグ（黒）はリアマイクプラグホルダーに収納し、マイク端子には接続しないでください。**

ご注意
- 再生時には、テレビやアンプのシアターモード、サラウンドモードなどの効果設定をOFFにしてください。
- スピーカーの配置によっては音声に違和感を感じる場合があります。スピーカーの配置を調整してください。

2 **バッテリーチェックランプ**
モード切り換えスイッチを切り換えると一瞬光り、電源の状態を知らせます。光りかたが暗かったり、光らなかった場合には電池を交換してください。

3 **ウインドスクリーン**
マイクにかぶせ、風や息が直接あたるときに発生する"ボコボコ"という雑音を減らします。

ご注意
素材の特性上、起毛が抜けやすいので丁寧にお取り扱いください。また、水洗いはできません。濡れた場合はドライヤーで、手にさわれる程度の温度で丁寧に乾燥させてください。

4 **コードクランパー**
コードを挟んでください。

5 **バッテリーカバー**

6 **回転ノブ**

7 **ステレオミニ型Lプラグ**
フロントマイクプラグ（赤）
リアマイクプラグ（黒）

8 **リアマイクプラグホルダー**
使用しないときにリアマイクプラグ（黒）を収納してください。

保証書とアフターサービス

保証書
- この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際、お受け取りください。
- 所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。
- 保証期間は、お買い上げ日より1年間です。

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックを
この取扱説明書をもう一度ご覧になってお調べください。

それでも具合の悪いときは
テクニカルインフォメーションセンターにご相談ください。

保証期間中は
保証書の記載内容に基づいて交換させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

主な仕様

形式	MS（Mid-Side）方式
周波数特性	150～15000Hz
コード長さ	約28cm
電源	リチウム電池（CR2032）
連続使用時間	（常温時）約100時間（CR2032、4CHマイク モード時）
使用温度	0℃～40℃
保存温度	－10℃～60℃
外形寸法	約87.8mm×91.5mm×26.6mm（ツマミ、回転ノブ、コード除く）
重量	約80g（電池含む）
付属品	ウインドスクリーン（1）、ソニーリチウム電池CR2032（1）（本体に装着済み）、ポーチ（1）、取扱説明書（1）、保証書（1）
指向特性	前方90度、後方120度（イラストG参照）

本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

お問い合わせ窓口のご案内

■ テクニカルインフォメーションセンター
ご使用上での不明な点や技術的なご質問のご相談、および修理受付の窓口です。

製品の品質には万全を期しておりますが、万一不具合が生じた場合は、「テクニカルインフォメーションセンター」までご連絡ください。修理に関するご案内をさせていただきます。また修理が必要な場合は、お客様のお宅まで指定宅配便にて集荷にうかがいますので、まずお電話ください。

電話のおかけ間違いにご注意ください。

電話：　0564-62-4979
受付時間：　月～金曜日　午前9時～午後5時
（ただし、年末、年始、祝日を除く）

お電話される際に、本機の型名(ECM-CQP1)をお知らせください。
より迅速な対応が可能になります。

ソニー株式会社　〒141-0001　東京都品川区北品川6-7-35

English

Before operating this unit, please read this manual thoroughly and retain it for future reference.

Main Features

This microphone can be used attached to a video camera recorder with a microphone jack and an accessory shoe*.
- When used with the DCR-HC1000, this microphone serves as a surround microphone in 4CH MIC mode. By using video editing software such as "Click to DVD Ver. 2.X," you can create a 5.1ch surround DVD disc.
- When attached to an ordinary video camera recorder that supports 2ch stereo recording, this microphone enables wide soundstage recording in WIDE STEREO SOUND RECORDING mode.
- The microphone is turned on or off as you operate the power switch on the video camera recorder. You cannot use the microphone with a video camera recorder that does not have plug-in-power.

* By using the optional accessory shoe adaptor VCT-S30L, the microphone can be used with models without an accessory shoe.

Precautions

- The microphone is very sensitive. Do not drop, knock it, or subject it to excessive shock.
- Keep the microphone away from extremely high temperatures and humidity.
- If the microphone is placed near speakers, a howling effect (acoustic feedback) may occur. If this happens, place the microphone as far as possible from the speakers, or lower the volume of the speaker.
- If you change the switch setting of the microphone during recording, noise may occur.
- The battery check lamp lights up momentarily and soon goes out to save battery power.

Before using the microphone (see illustration A)

The battery is already installed at the factory. Remove the insulation (a) inserted to avoid flattening the battery at shipment before using the microphone.

Replacing the battery (see illustration B)

1 Pull out the battery cover while pushing the tab on the cover.
2 Push the ⊖ side to remove the battery.
3 Insert a new battery with its ⊕ side facing outwards.
4 Push the battery cover until it clicks.

Battery replacement period

The battery check lamp flashes momentarily when the switch of the microphone is changed. If the battery check lamp flashes dimly or does not flash at all, replace the battery with a new one.
The microphone is operational continuously for about 100 hours with the supplied Sony lithium battery CR2032. (Operating time varies depending on the usage conditions.)
When checking the battery charge, wait about 2 seconds after changing the setting of the switch before changing it again.

Notes on battery

Mishandling of the battery may cause it to leak or rupture. Be sure to observe the following.
- Install the battery with the + and – correctly matching the ⊕ and ⊖ inside the battery compartment.
- Do not attempt to recharge the battery. It is not rechargeable.
- Remove the battery if the microphone is not to be used for a long period of time.

In case of battery leakage, wipe off any electrolyte in the battery compartment thoroughly before installing a new battery.
Keep the battery out of the reach of children to avoid them swallowing it accidentally. If swallowed, consult a doctor immediately.

Connecting to compliant equipment (see illustrations C, D)

Secure the microphone to the accessory shoe of the video camera recorder by the thumb wheel (see illustration D). With the video camera recorder is switched off, connect the front microphone plug (red) to the FRONT (red) jack, and the rear microphone plug (black) to the REAR (black) jack of the video camera recorder (4CH MIC mode), or connect only the front microphone plug (red) to the FRONT (red) jack (WIDE STEREO SOUND RECORDING mode). (In WIDE STEREO SOUND RECORDING mode, keep the rear microphone plug (black) in the rear microphone plug holder.) (see illustration E)

Note
Fully insert the microphone plug.

Part names and their functions (see illustration E)

1 **Mode select switch (see illustration F)**
Decide the position according to the sound source.

4CH MIC	For 4ch microphone recording. (see illustration F-1)
WIDE STEREO	For wide soundstage recording during 2ch stereo recording. (see illustration F-2)

- 4CH MIC mode
Connect the front microphone plug (red) to the FRONT (red) jack, and the rear microphone plug (black) to the REAR (black) jack of the video camera recorder.
By using video editing software such as "Click to DVD Ver. 2.X," you can create a 5.1ch surround DVD disc.
- WIDE STEREO SOUND RECORDING mode
Connect only the front microphone plug (red) to the FRONT (red) jack of the video camera recorder. The rear microphone plug (black) is not needed. **Keep the rear microphone plug (black) in the rear microphone plug holder. Do not connect the rear microphone plug (black) to the REAR (black) jack.**

Notes
- In playback, set the effect (such as theater mode or surround mode, of television or amplifier) off.
- If you are not satisfied with the sound of the speakers, reposition them to your taste.

2 **Battery check lamp**
The battery check lamp flashes momentarily to indicate the state of the battery when the mode select switch is changed. When the battery check lamp flashes dimly or does not flash at all, replace the battery with a new one.

3 **Wind screen**
Place on the microphone to reduce wind or breathing noise.

Note
Handle the wind screen carefully as the synthetic fur material is quite fragile. Do not wash the wind screen in water. If the wind screen gets wet, dry it carefully using a blow dryer set to medium or warm heat (air flow should be warm on your hand, not hot).

4 **Cord clamp**
Fit the cord into the cord clamp.

5 **Battery cover**

6 **Thumb wheel**

7 **Stereo mini type L plug**
Front microphone plug (red)
Rear microphone plug (black)

8 **Rear microphone plug holder**
When the rear microphone plug (black) is not in use, keep it in the rear microphone plug holder.

Specifications

Type	MS (Mid-Side) stereo system
Frequency response	150 - 15,000 Hz
Microphone cord length	Approx. 28 cm (11 1/8 in.)
Power requirements	Lithium battery (CR2032)
Battery life	(At room temperature) Approx. 100 hours (with a CR2032 battery, in 4CH MIC mode)
Operating temperature	0ºC to 40 ºC (32 ºF to 104 ºF)
Storage temperature	–10ºC to 60 ºC (14ºF to 140 ºF)
Dimensions	Approx. 87.8 mm × 91.5 mm × 26.6 mm (3 1/2 × 3 5/8 × 1 1/16 in.) (excluding tab, thumb wheel, cord)
Mass	Approx. 80 g (2.9 oz) (including the battery)
Supplied accessories	Wind screen (1), Sony lithium battery CR2032 (1) (installed on the microphone), Carrying pouch (1), Operating Instructions (1)
Pick up pattern	front 90°, rear 120° (see illustration G)

Design and specifications are subject to change without notice.

Français

Avant d'utiliser cet appareil, veuillez lire ce manuel attentivement et conservez-le pour toute référence ultérieure.

Principales caractéristiques

Ce microphone peut être utilisé sur un caméscope doté d'une prise microphone et d'une griffe porte-accessoires*.
- Lorsqu'il est utilisé avec le caméscope DCR HC1000, ce microphone sert de microphone d'ambiance en mode 4CH MIC. Vous pouvez également créer un DVD surround à 5.1 canaux en utilisant un logiciel de montage vidéo comme « Click to DVD Ver. 2.X ».
- Lorsqu'il est installé sur un caméscope ordinaire pouvant effectuer un enregistrement 2 canaux stéréo, ce microphone permet d'obtenir un son haute qualité en mode WIDE STEREO.
- Le microphone est activé ou désactivé lorsque vous mettez le caméscope sous tension. Vous ne pouvez pas utiliser le microphone avec un caméscope qui ne dispose pas d'une alimentation par fiche.

* Avec l'adaptateur pour griffe porte-accessoires optionnel VCT-S30L, le microphone peut être utilisé avec des modèles qui ne sont pas équipés d'une griffe porte-accessoires.

Précautions

- Le microphone est très fragile. Ne le laissez pas tomber, ne le cognez pas et ne le soumettez pas à un choc violent.
- N'exposez pas le microphone à des températures extrêmement élevées et à l'humidité.
- Si le microphone se trouve à proximité de haut-parleurs, un effet Larsen (rétroaction acoustique) peut se produire. Dans ce cas, éloignez le microphone des haut-parleurs ou diminuez le volume des haut-parleurs.
- Des parasites peuvent survenir si vous modifiez le réglage du commutateur du microphone pendant un enregistrement.
- Le témoin d'autonomie de la pile s'allume brièvement, puis s'éteint pour économiser l'énergie de la pile.

Avant d'utiliser le microphone (voir illustration A)

La pile est déjà installée en usine. Avant d'utiliser le microphone, retirez le matériau d'isolation (a) inséré, afin d'éviter que la pile ne se décharge pendant le transport.

Remplacement de la pile (voir illustration B)

1 Sortez le couvercle de la pile tout en appuyant sur la patte qui se trouve sur celui-ci.
2 Appuyez sur le côté ⊖ pour retirer la pile.
3 Insérez la nouvelle pile avec le côté ⊕ vers l'extérieur.
4 Poussez le couvercle de la pile jusqu'au déclic.

Remplacement de la pile

Le témoin d'autonomie de la pile clignote brièvement lorsque la position du sélecteur de mode du microphone est modifiée. Si le témoin d'autonomie de la pile clignote faiblement ou ne clignote pas du tout, remplacez la pile par une neuve.
Le microphone peut fonctionner en continu pendant environ 100 heures avec la pile au lithium CR2032 Sony. (La durée de fonctionnement varie selon les conditions d'utilisation.)
Lorsque vous vérifiez l'autonomie de la pile, attendez deux secondes environ après avoir modifié le réglage du sélecteur de mode avant de le changer à nouveau.

Remarques sur la pile

Une mauvaise manipulation de la pile peut entraîner une fuite ou un éclatement de celle-ci. Respectez bien les points suivants.
- Installez la pile en respectant la polarité.
- N'essayez pas de recharger la pile car il ne s'agit pas d'une pile rechargeable.
- Retirez la pile si le microphone ne doit pas être utilisé pendant une longue période.

En cas de fuite, essuyez toute trace d'électrolyte dans le compartiment à pile avant d'insérer une pile neuve.
Conservez la pile hors de portée des enfants pour éviter une ingestion. En cas d'ingestion, consultez immédiatement un médecin.

Raccordement à l'équipement conforme (voir illustration C, D)

Installez le microphone sur la griffe porte-accessoires du caméscope grâce à la molette (voir l'illustration D). Lorsque le caméscope est hors tension, raccordez la fiche avant du microphone (rouge) sur la prise FRONT (rouge) et la fiche arrière du microphone (noire) sur la prise REAR (noire) du caméscope (mode 4CH MIC) ou raccordez uniquement la fiche avant du microphone (rouge) sur la prise FRONT (rouge) (mode WIDE STEREO). (En mode WIDE STEREO, laissez la fiche arrière du microphone (noire) dans son support.) (voir l'illustration E)

Remarque
Insérez la fiche du microphone à fond.

Désignation et fonction des pièces (Voir illustration E)

1 **Sélecteur de mode (voir l'illustration F)**
Définit la position selon la source sonore.

4CH MIC	Permet un enregistrement avec un microphone 4 canaux. (voir l'illustration F-1)
WIDE STEREO	Permet un enregistrement très large pendant un enregistrement 2 canaux stéréo. (voir l'illustration F-2)

- Mode 4CH MIC
Raccordez la fiche avant du microphone (rouge) sur la prise FRONT (rouge) et la fiche arrière du microphone (noire) sur la prise REAR (noire) du caméscope.
Vous pouvez créer un DVD surround à 5.1 canaux en utilisant un logiciel de montage vidéo comme « Click to DVD Ver. 2.X ».
- Mode WIDE STEREO
Raccordez uniquement la fiche avant du microphone (rouge) sur la prise FRONT (rouge) du caméscope. La fiche arrière du microphone (noire) n'est pas nécessaire. **Laissez la fiche arrière du microphone (noire) dans son support. Ne raccordez pas la fiche arrière du microphone (noire) sur la prise REAR (noire).**

Remarques
- Pendant la lecture, l'effet (par exemple le mode théâtre ou surround de la télévision ou de l'amplificateur) est désactivé.
- Si vous n'êtes pas satisfait du son des haut-parleurs, repositionnez-les à votre convenance.

2 **Témoin d'autonomie de la pile**
Le témoin d'autonomie de la pile clignote brièvement pour indiquer l'autonomie de la pile lorsque la position du sélecteur de mode est modifiée. Si le témoin d'autonomie de la pile clignote faiblement ou ne clignote pas du tout, remplacez la pile par une neuve.

3 **Bonnette anti-vent**
Placez-la sur le microphone pour réduire le bruit du vent ou de la respiration.

Remarque
Manipulez la bonnette anti-vent avec précaution car la fourrure synthétique est relativement fragile. Ne plongez pas la bonnette anti-vent dans l'eau. Si elle est mouillée, séchez-la soigneusement avec un sèche-cheveux diffusant une chaleur moyenne à chaude (le flux d'air sur votre main doit être chaud et non brûlant).

4 **Serre-câbles**
Insérez le cordon dans le serre-câbles.

5 **Couvercle de la pile**

6 **Molette**

7 **Mini-fiche stéréo de type L**
Fiche avant du microphone (rouge)
Fiche arrière du microphone (noire)

8 **Support de la fiche arrière du microphone**
Lorsque vous n'utilisez pas la fiche arrière du microphone (noire), laissez-la dans son support.

Spécifications

Type	Système stéréo MS (Mid-Side)
Réponse en fréquence	150 à 15 000 Hz
Longueur du cordon de microphone	Environ 28 cm (11 1/8 po.)
Alimentation	Pile au lithium (CR2032)
Autonomie de la pile	(à température ambiante) Environ 100 heures (avec une pile CR2032, en mode 4CH MIC)
Température de fonctionnement	0 °C à 40 °C (32 °F à 104 °F)
Température de stockage	–10 °C à 60 °C (14ºF à 140 °F)
Dimensions	Environ 87,8 mm × 91,5 mm × 26,6 mm (3 1/2 × 3 5/8 × 1 1/16 po.) (patte, molette, cordon non compris)
Poids	Environ 80 g (2.9 on.) (pile incluse)
Accessoires fournis	Bonnette anti-vent (1), pile lithium Sony CR2032 (1) (installée dans le microphone), étui (1), mode d'emploi (1)
Diagramme directionnel	avant 90°, arrière 120° (voir l'illustration G)

La conception et les spécifications peuvent être modifiées sans avis préalable.

Deutsch

Lesen Sie diese Anleitung vor Inbetriebnahme des Geräts bitte genau durch und bewahren Sie sie zum späteren Nachschlagen sorgfältig auf.

Für Kunden in Deutschland

Entsorgungshinweis: Bitte werfen Sie nur entladene Batterien in die Sammelboxen beim Handel oder den Kommunen. Entladen sind Batterien in der Regel dann, wenn das Gerät abschaltet und „Batterie leer" signalisiert oder nach längerer Gebrauchsdauer der Batterien „nicht mehr einwandfrei funktioniert". Um sicherzugehen, kleben Sie die Batteriepole z.B. mit einem Klebestreifen ab oder geben Sie die Batterien einzeln in einen Plastikbeutel.

Die wichtigsten Funktionen und Merkmale

Dieses Mikrofon lässt sich an eine Videokamera mit einer Mikrofonbuchse und einem Zubehörschuh* anbringen.
- Bei der DCR-HC1000 kann dieses Mikrofon als Raumklangmikrofon im Modus 4CH MIC eingesetzt werden. Mithilfe einer Videobearbeitungssoftware wie „Click to DVD Ver. 2.X" können Sie 5.1-Raumklang-DVDs erstellen.
- Wenn Sie das Mikrofon an einer normalen Videokamera anbringen, die 2-Kanal-Stereoaufnahmen unterstützt, können Sie damit im Modus WIDE STEREO Aufnahmen mit breitem Klangraum erstellen.
- Das Mikrofon wird über den Netzschalter der Videokamera ein- bzw. ausgeschaltet. Mit einer Videokamera ohne Plug-in-Power-Anschluss können Sie das Mikrofon nicht verwenden.

* Wenn Sie den gesondert erhältlichen Zubehörschuhadapter VCT-S30L verwenden, können Sie das Mikrofon auch bei Modellen ohne Zubehörschuh einsetzen.

Zur besonderen Beachtung

- Das Mikrofon ist sehr empfindlich. Lassen Sie es nicht fallen und setzen Sie es keinen heftigen Stößen aus.
- Schützen Sie das Mikrofon vor extrem hohen Temperaturen und Feuchtigkeit.
- Wenn das Mikrofon in der Nähe von Lautsprechern verwendet wird, kann es zu einer akustischen Rückkopplung (Heulton) kommen. Stellen Sie das Mikrofon in einem solchen Fall möglichst weit entfernt von den Lautsprechern auf. Oder verringern Sie die Lautstärke der Lautsprecher.
- Wenn Sie die Schaltereinstellung am Mikrofon während der Aufnahme ändern, kann es zu Störgeräuschen kommen.
- Die Batterieanzeige leuchtet kurz auf und erlischt nach kurzer Zeit, um die Batterie zu schonen.

Vorbereitungen (siehe Abbildung A)

Werkseitig ist bereits eine Batterie eingelegt. Nehmen Sie die Isolierung (a) heraus, die verhindern soll, dass sich die Batterie entlädt, bevor das Mikrofon benutzt wird.

Austauschen der Batterie (siehe Abbildung B)

1 Halten Sie die Lasche an der Batteriefachabdeckung gedrückt und ziehen Sie die Abdeckung heraus.
2 Drücken Sie zum Entfernen der Batterie auf die mit ⊖ markierte Seite.
3 Legen Sie eine neue Batterie mit der Seite ⊕ nach außen weisend ein.
4 Drücken Sie die Batteriefachabdeckung hinein, bis sie mit einem Klicken einrastet.

Wann muss die Batterie ausgetauscht werden?

Die Batterieanzeige blinkt kurz auf, wenn die Schalterstellung am Mikrofon geändert wird. Wenn die Batterieanzeige schwach oder gar nicht mehr blinkt, tauschen Sie die Batterie gegen eine neue aus.
Bei ununterbrochenem Mikrofonbetrieb beträgt die Lebensdauer der mitgelieferten Lithiumbatterie CR2032 von Sony etwa 100 Stunden. Die Lebensdauer hängt von den Betriebsbedingungen ab.
Wenn Sie den Ladezustand der Batterie überprüfen und die Schalterstellung ändern, warten Sie etwa 2 Sekunden, bevor Sie sie erneut ändern.

Hinweise zur Batterie

Bei unsachgemäßem Umgang kann die Batterie auslaufen oder bersten. Beachten Sie bitte folgende Hinweise.
- Legen Sie die Batterie so ein, dass + und – richtig an den Markierungen ⊕ und ⊖ im Batteriefach ausgerichtet sind.
- Versuchen Sie nicht, die Batterie aufzuladen. Dies ist nicht möglich.
- Wenn Sie das Mikrofon längere Zeit nicht benutzen wollen, nehmen Sie die Batterie heraus.

Falls die Batterie ausläuft, wischen Sie das Batteriefach zunächst sorgfältig trocken und legen Sie dann eine neue Batterie ein.
Bewahren Sie die Batterie außerhalb der Reichweite von Kindern auf, damit diese sie nicht versehentlich verschlucken. Sollte eine Batterie verschluckt werden, suchen Sie unverzüglich einen Arzt auf.

Anschließen an kompatible Geräte (siehe Abbildung C, D)

Befestigen Sie das Mikrofon mithilfe des Rändelrads fest am Zubehörschuh der Videokamera (siehe Abbildung D). Achten Sie darauf, dass die Videokamera ausgeschaltet ist. Verbinden Sie dann den vorderen Mikrofonstecker (rot) mit der Buchse FRONT (rot) und den hinteren Mikrofonstecker (schwarz) mit der Buchse REAR (schwarz) an der Videokamera (Modus 4CH MIC). Oder schließen Sie nur den vorderen Mikrofonstecker (rot) an die Buchse FRONT (rot) an (Modus WIDE STEREO). Im Modus WIDE STEREO lassen Sie den hinteren Mikrofonstecker (schwarz) im Halter für den hinteren Mikrofonstecker (siehe Abbildung E).

Hinweis
Stecken Sie den Mikrofonstecker ganz in die Buchse.

Lage und Funktion der Teile und Bedienelemente (siehe Abbildung E)

1 **Moduswählschalter (siehe Abbildung F)**
Stellen Sie je nach Tonquelle die geeignete Position ein.

4CH MIC	Für 4-Kanal-Mikrofonaufnahmen (siehe Abbildung F-1)
WIDE STEREO	Für Aufnahmen mit breitem Klangraum bei 2-Kanal-Stereoaufnahmen (siehe Abbildung F-2)

- Modus 4CH MIC
Verbinden Sie den vorderen Mikrofonstecker (rot) mit der Buchse FRONT (rot) und den hinteren Mikrofonstecker (schwarz) mit der Buchse REAR (schwarz) an der Videokamera.
Mithilfe einer Videobearbeitungssoftware wie „Click to DVD Version 2.X" können Sie 5.1-Raumklang-DVDs erstellen.
- Modus WIDE STEREO
Verbinden Sie nur den vorderen Mikrofonstecker (rot) mit der Buchse FRONT (rot) an der Videokamera. Den hinteren Mikrofonstecker (schwarz) benötigen Sie nicht. **Lassen Sie den hinteren Mikrofonstecker (schwarz) im Halter für den hinteren Mikrofonstecker. Verbinden Sie den hinteren Mikrofonstecker (schwarz) nicht mit der Buchse REAR (schwarz).**

Hinweise
- Schalten Sie bei der Wiedergabe alle Effekte, wie z. B. Kinomodus oder Raumklangmodus, des Fernsehgeräts oder Verstärkers aus.
- Wenn der Klang von den Lautsprechern nicht zufrieden stellend ist, ändern Sie die Anordnung der Lautsprecher.

2 **Batterieanzeige**
Die Batterieanzeige blinkt kurz, um den Zustand der Batterie anzuzeigen, wenn die Einstellung des Moduswählschalters geändert wird. Wenn die Batterieanzeige schwach oder gar nicht mehr blinkt, tauschen Sie die Batterie gegen eine neue aus.

3 **Windschutz**
Zum Anbringen am Mikrofon, um Wind- oder Atemgeräusche zu verringern.

Hinweis
Behandeln Sie den Windschutz mit Sorgfalt, da das Kunstfaserfell recht empfindlich ist. Waschen Sie den Windschutz nicht mit Wasser. Wenn der Windschutz nass geworden ist, trocknen Sie ihn sorgfältig mit einem Föhn auf mittlerer Heizstufe. Der Luftstrom sollte auf der Haut warm, aber nicht heiß zu spüren sein.

4 **Kabelklemme**
Setzen Sie das Kabel in die Kabelklemme ein.

5 **Batteriefachabdeckung**

6 **Rändelrad**

7 **L-förmiger Stereoministecker**
Vorderer Mikrofonstecker (rot)
Hinterer Mikrofonstecker (schwarz)

8 **Halter für den hinteren Mikrofonstecker**
Wenn der hintere Mikrofonstecker (schwarz) nicht verwendet wird, lassen Sie ihn im Halter für den hinteren Mikrofonstecker.

Technische Daten

Typ	MS-Stereosystem (Mitte-Seite)
Frequenzgang	150-15.000 Hz
Mikrofonkabellänge	ca. 28 cm
Stromversorgung	Lithiumbatterie (CR2032)
Batterielebensdauer	(bei Raumtemperatur) ca. 100 Stunden (bei einer CR2032-Batterie im Modus 4CH MIC)
Betriebstemperatur	0 ºC bis 40 ºC
Lagertemperatur	–10 ºC bis 60 ºC
Abmessungen	ca. 87,8 mm × 91,5 mm × 26,6 mm (ohne Lasche, Rändelrad, Kabel)
Gewicht	ca. 80 g (einschließlich Batterie)
Mitgeliefertes Zubehör	Windschutz (1), Lithiumbatterie CR2032 von Sony (1) (in das Mikrofon eingelegt), Tragebeutel (1), Bedienungsanleitung (1)
Richtcharakteristik	vorne 90°, hinten 120° (siehe Abbildung G)

Änderungen, die dem technischen Fortschritt dienen, bleiben vorbehalten.

Español

Antes de utilizar esta unidad, lea este manual atentamente y consérvelo para consultarlo en el futuro.

Características principales

Este micrófono puede utilizarse conectándolo a una videocámara con toma de micrófono y una zapata para accesorios*.
- Cuando se utiliza junto con el modelo DCR-HC1000, este micrófono sirve como un micrófono de sonido envolvente en modo 4CH MIC. Si se utiliza un software de edición de vídeo como, por ejemplo, "Click to DVD Ver. 2.X", podrá crear discos DVD 5.1 de sonido envolvente.
- Si se conecta a una videocámara normal que admita la grabación estéreo de 2 canales, este micrófono permite la grabación de longitud de sonido amplia en modo WIDE STEREO.
- El micrófono se enciende o se apaga mediante el propio interruptor de alimentación de la videocámara. No es posible utilizar el micrófono con una videocámara que no disponga de alimentación por enchufe.

* Si se utiliza el adaptador de zapata para accesorios opcional VCT-S30L, el micrófono podrá utilizarse con modelos que no dispongan de zapata para accesorios.

Precauciones

- El micrófono es muy sensible. Procure no dejarlo caer ni golpearlo con fuerza.
- Mantenga el micrófono alejado de lugares con humedad y temperaturas muy altas.
- Es posible que se produzca un efecto de zumbido (reacción acústica) si coloca el micrófono cerca de altavoces. En tal caso, aléjelo todo lo posible de los altavoces o baje el volumen del altavoz.
- Si cambia el ajuste del interruptor del micrófono durante la grabación, es posible que se originen ruidos.
- El indicador de comprobación de la pila se enciende un momento y se apaga inmediatamente para ahorrar energía.

Antes de utilizar el micrófono (consulte la figura A)

La pila ya viene instalada de fábrica. Antes de utilizar el micrófono, retire la protección (a) insertada para evitar que la pila quede aplastada durante el transporte.

Sustitución de la pila (consulte la figura B)

1 Tire de la tapa de la pila mientras presiona la pestaña de dicha tapa.
2 Empuje la cara ⊖ para extraer la pila.
3 Inserte una pila nueva con la cara ⊕ mirando hacia afuera.
4 Presione la tapa de la pila hasta que oiga un "clic".

Duración de la pila

El indicador de comprobación de la pila parpadeará momentáneamente cuando se cambie el ajuste del interruptor del micrófono. Si el indicador de comprobación de la pila emite una luz débil o no parpadea en absoluto, sustituya la pila por una nueva.
El micrófono puede utilizarse sin interrupción durante unas 100 horas con la pila de litio suministrada CR2032 de Sony. (La vida útil de dicha pila puede variar en función de las condiciones de uso.)
Cuando compruebe la carga de la pila, espere unos 2 segundos tras cambiar el ajuste del interruptor antes de cambiarlo de nuevo.

Notas sobre la pila

Una mala manipulación de la pila podría provocar fugas o una rotura de la misma. Procure respetar las siguientes precauciones.
- Coloque la pila de modo que el polo + y – coincidan con la parte ⊕ y ⊖ del interior del compartimiento de la pila.
- No intente recargar la pila, ya que no es recargable.
- Extraiga la pila si no va a utilizar el micrófono durante un largo período de tiempo.

En caso de producirse una fuga en la pila, limpie a fondo cualquier electrolito del compartimiento de la pila antes de colocar una pila nueva.
Guarde la pila fuera del alcance de los niños para evitar que se las traguen accidentalmente. En tal caso, consulte a un médico inmediatamente.

Conexión a un equipo compatible (consulte las figuras C y D)

Asegure el micrófono a la zapata para accesorios de la videocámara mediante el mando rotatorio (consulte la figura D). Con la videocámara desconectada, conecte la clavija del micrófono frontal (roja) a la toma FRONT (roja) y la clavija del micrófono posterior (negra) a la toma REAR (negra) de la videocámara (modo 4CH MIC), o conecte solamente la clavija del micrófono frontal (roja) a la toma FRONT (roja) (modo WIDE STEREO). (En el modo WIDE STEREO, guarde la clavija del micrófono posterior (negra) en el soporte del enchufe del micrófono posterior.) (Consulte la figura E)

Nota
Inserte completamente la clavija del micrófono.

Nombres de las piezas y sus funciones (consulte la figura E)

1 **Interruptor de selección de modo (consulte la figura F)**
Decida la posición según la fuente de sonido.

4CH MIC	Para la grabación mediante micrófonos de 4 canales. (Consulte la figura F-1)
WIDE STEREO	Para la grabación de longitud de sonido amplia durante la grabación estéreo de 2 canales. (Consulte la figura F-2)

- Modo 4CH MIC
Conecte la clavija del micrófono frontal (roja) a la toma FRONT (roja) y la clavija del micrófono posterior (negra) a la toma REAR (negra) de la videocámara.
Si se utiliza un software de edición de vídeo como, por ejemplo, "Click to DVD Ver. 2.X", podrá crear discos DVD 5.1 de sonido envolvente.
- Modo WIDE STEREO
Conecte solamente la clavija del micrófono frontal (roja) a la toma FRONT (roja) de la videocámara. La clavija del micrófono posterior (negra) no es necesaria. **Guarde la clavija del micrófono posterior (negra) en el soporte del enchufe del micrófono posterior. No conecte la clavija del micrófono posterior (negra) a la toma REAR (negra).**

Notas
- En el modo de reproducción, desactive los efectos tales como el modo de sala de cine o de sonido envolvente, de la televisión o del amplificador.
- Si no está satisfecho con el sonido de los altavoces, cambie su ubicación según sus preferencias.

2 **Indicador de comprobación de la pila**
El indicador de comprobación de la pila parpadea un instante para indicar el estado de la misma al cambiar el ajuste del interruptor de selección de modo. Si el indicador de comprobación de la pila emite una luz débil o no parpadea en absoluto, sustituya la pila por una nueva.

3 **Espuma protectora**
Colóquela en el micrófono para atenuar los ruidos provocados por el viento o la respiración.

Nota
Manipule la espuma protectora con cuidado ya que el material de piel sintética es bastante frágil. No lave la espuma protectora con agua. Si la espuma protectora se moja, séquela con cuidado utilizando un secador de pelo a temperatura media (debe notar en su mano el aire templado, no caliente).

4 **Abrazadera de cables**
Coloque el cable en la abrazadera de cables.

5 **Tapa de la pila**

6 **Mando rotatorio**

7 **Miniclavija estéreo de tipo L**
Clavija del micrófono frontal (roja)
Clavija del micrófono posterior (negra)

8 **Soporte del enchufe del micrófono posterior**
Si no se utiliza la clavija del micrófono posterior (negra), guárdela en el soporte del enchufe del micrófono posterior.

Especificaciones

Tipo	Sistema estéreo MS (medio-lateral)
Respuesta de frecuencia	De 150 a 15.000 Hz
Longitud del cable del micrófono	28 cm aproximadamente
Requisitos de alimentación	Pila de litio (CR2032)
Duración de la pila	(A temperatura ambiente) 100 horas aproximadamente (con una pila CR2032, en modo 4CH MIC)
Temperatura de funcionamiento	De 0ºC a 40ºC
Temperatura de almacenamiento	De –10ºC a 60ºC
Dimensiones	87,8 mm × 91,5 mm × 26,6 mm aproximadamente (sin incluir la pestaña, el mando rotatorio ni el cable)
Peso	80 g aproximadamente (con la pila)
Accesorios suministrados	Espuma protectora (1), pila de litio CR2032 de Sony (1) (colocada en el micrófono), bolsa de transporte (1), Manual de instrucciones (1)
Patrón de captación de sonido	Frontal de 90°, posterior de 120° (consulte la figura G)

El diseño y las especificaciones están sujetos a cambio sin previo aviso.

Nederlands

Voordat u het apparaat gebruikt, moet u deze gebruiksaanwijzing aandachtig doorlezen. Bewaar de gebruiksaanwijzing voor het geval u deze later als referentiemateriaal nodig hebt.

Voor de klanten in Nederland

Gooi de batterij niet weg maar lever deze in als klein chemisch afval (KCA).

Kenmerken

Deze microfoon is geschikt voor een videocamera met een microfoonaansluiting en een accessoireschoen*.
- De microfoon dient als surroundmicrofoon in de 4CH MIC stand als u deze gebruikt met de DCR-HC1000. Als u bewerkingssoftware voor video's gebruikt, zoals "Click to DVD Ver. 2.X", kunt u DVD's met 5.1-kanaals surroundgeluid maken.
- Als u de microfoon aansluit op een gewone videocamera die 2-kanaals stereo-opnamen ondersteunt, kan met deze microfoon een breed geluidsveld worden opgenomen in de WIDE STEREO stand.
- U schakelt de microfoon in of uit met de aan/uit-schakelaar op de videocamera. U kunt de microfoon niet gebruiken met een videocamera zonder adaptervoeding.

* Als u de optionele schoenadapter VCT-S30L gebruikt, kunt u de microfoon gebruiken met modellen zonder een accessoireschoen.

Voorzorgsmaatregelen

- De microfoon is erg gevoelig. Stel de microfoon niet bloot aan overmatige schokken, laat het product niet vallen en stoot er niet tegen aan.
- Stel de microfoon niet bloot aan extreem hoge temperaturen en vochtigheid.
- Als u de microfoon dichtbij de luidsprekers plaatst, kan nagalm (akoestische terugkoppeling) optreden. Als dit gebeurt, moet u de microfoon zo ver mogelijk bij de luidsprekers vandaan plaatsen of het volume van de luidspreker lager zetten.
- Als u de schakelaar van de microfoon omzet tijdens het opnemen, kan er ruis ontstaan.
- Het controlelampje van de batterij wordt tijdelijk ingeschakeld en wordt daarna weer uitgeschakeld om de batterijlading te sparen.

Vóór gebruik van de microfoon (zie afbeelding A)

De batterij is al in de fabriek geplaatst. Verwijder voordat u de microfoon gebruikt, het isolatiemateriaal (a) dat is toegevoegd om te voorkomen dat de batterij wordt geplet tijdens het vervoer.

De batterij vervangen (zie afbeelding B)

1 Trek het batterijdeksel uit de batterijhouder terwijl u op de tab op de houder drukt.
2 Duw op de ⊖ zijde om de batterij te verwijderen.
3 Plaats een nieuwe batterij met de ⊕ zijde naar buiten gericht.
4 Duw op het batterijdeksel totdat dit vastklikt.

Vervangingstijd van de batterij

Het controlelampje van de batterij knippert even wanneer de schakelaar van de microfoon wordt omgezet. Als het controlelampje van de batterij zwak knippert of niet knippert, moet u de batterij vervangen door een nieuwe batterij.
Met de bijgeleverde Sony-lithiumbatterij CR2032 kan de microfoon ongeveer 100 uur aaneengesloten worden gebruikt. (De werkingstijd is afhankelijk van de gebruiksomstandigheden.)
Als u de lading van de batterij controleert, moet u ongeveer 2 seconden wachten nadat u de schakelaar hebt omgezet voordat u deze weer omzet.

Opmerkingen over de batterij

Als gevolg van onjuist handelen kan de batterij lekken of barsten. Houd rekening met de volgende punten.
- Plaats de batterij zodat de + en – polen samenvallen met de ⊕ en ⊖ aanduidingen in de batterijhouder.
- Laad de batterij niet op. Deze is niet oplaadbaar.
- Verwijder de batterij als u de microfoon gedurende langere tijd niet gebruikt.

Als er batterijlekkage optreedt, moet u de batterijhouder volledig reinigen voordat u een nieuwe batterij plaatst.
Houd de batterij buiten het bereik van kinderen om te voorkomen dat deze de batterij per ongeluk inslikken. Raadpleeg meteen een arts wanneer een batterij wordt ingeslikt.

Randapparatuur aansluiten (zie afbeelding C, D)

Draai de microfoon op de accessoireschoen van de videocamera met het wieltje vast (zie afbeelding D). Zorg dat de videocamera is uitgeschakeld en sluit dan de stekker van de voorste microfoon (rood) aan op de FRONT aansluiting (rood) en de stekker van de achterste microfoon (zwart) aan op de REAR aansluiting (zwart) van de videocamera (4CH MIC stand) of sluit alleen de stekker van de voorste microfoon (rood) aan op de FRONT aansluiting (WIDE STEREO stand). (In de WIDE STEREO stand houdt u de stekker van de achterste microfoon (zwart) in de stekkerhouder voor de achterste microfoon.) (zie afbeelding E)

Opmerking
Plaats de stekker van de microfoon volledig in de aansluiting.

Namen en functies van onderdelen (zie afbeelding E)

1 **Schakelaar voor standselectie (zie afbeelding F)**
Bepaal de positie aan de hand van de geluidsbron.

4CH MIC	Voor 4-kanaals opnamen met de microfoon. (zie afbeelding F-1)
WIDE STEREO	Voor het opnemen van een breed geluidsveld tijdens 2-kanaals stereo-opnamen. (zie afbeelding F-2)

- 4CH MIC stand
Sluit de stekker van de voorste microfoon (rood) aan op de FRONT aansluiting (rood) en de stekker van de achterste microfoon (zwart) op de REAR aansluiting (zwart) van de videocamera.
Als u bewerkingssoftware voor video's gebruikt, zoals "Click to DVD Ver. 2.X", kunt u DVD's met 5.1-kanaals surround maken.
- WIDE STEREO stand
Sluit alleen de stekker van de voorste microfoon (rood) aan op de FRONT aansluiting (rood) van de videocamera. U hebt de stekker van de achterste microfoon (zwart) niet nodig. **Houd de stekker van de achterste microfoon (zwart) in de stekkerhouder van de achterste microfoon. Sluit de stekker van de achterste microfoon (zwart) niet aan op de REAR aansluiting (zwart).**

Opmerkingen
- Tijdens het afspelen moet u het effect (zoals de theater- of de surroundstand, de televisie of de versterker) uitschakelen.
- Als u niet tevreden bent over het geluid van de luidsprekers, verplaatst u de luidsprekers desgewenst.

2 **Controlelampje van de batterij**
Het controlelampje van de batterij knippert tijdelijk om de batterijstatus weer te geven wanneer de schakelaar voor standselectie anders wordt ingesteld. Als het controlelampje van de batterij zwak knippert of helemaal niet knippert, vervangt u de batterij door een nieuwe.

3 **Windkap**
Plaats deze op de microfoon om geluiden als gevolg van wind en ademhaling te verminderen.

Opmerking
Wees voorzichtig met de windkap omdat de synthetische vacht erg kwetsbaar is. Maak de windkap niet schoon met water. Als de windkap nat wordt, moet u deze goed drogen met een haardroger die is ingesteld op medium of warm (de luchtstroom moet warm zijn op uw hand, maar niet heet).

4 **Snoerklem**
Plaats het snoer in de snoerklem.

5 **Batterijdeksel**

6 **Wieltje**

7 **L-vormige stereo mini-aansluiting**
Stekker van de voorste microfoon (rood)
Stekker van de achterste microfoon (zwart)

8 **Stekkerhouder voor de achterste microfoon**
Als u de stekker van de achterste microfoon (zwart) niet gebruikt, houdt u deze stekker in de stekkerhouder voor de achterste microfoon.

Technische gegevens

Type	MS (Mid-Side) stereosysteem
Frequentiebereik	150 - 15.000 Hz
Lengte microfoonsnoer	Ongeveer 28 cm
Stroomvereisten	Lithiumbatterij (CR2032)
Levensduur van de batterij	(bij kamertemperatuur) Ongeveer 100 uur (met een CR2032 batterij, in de 4CH MIC stand)
Bedrijfstemperatuur	0ºC tot 40ºC
Opslagtemperatuur	–10ºC tot 60ºC
Afmetingen	Ongeveer 87,8 mm × 91,5 mm × 26,6 mm (zonder tab, kartelschijf, snoer)
Gewicht	Ongeveer 80 g (met de batterij)
Bijgeleverde accessoires	Windkap (1), Sony lithiumbatterij CR2032 (1) (in de microfoon geïnstalleerd), draagtasje (1), gebruiksaanwijzing (1)
Geluidsopnamepatroon	voor 90°, achter 120° (zie afbeelding G)

Wijzigingen in ontwerp en technische gegevens voorbehouden, zonder kennisgeving.

Svenska

Innan du använder den här enheten bör du läsa igenom bruksanvisningen, som du sedan bör spara eftersom du kan behöva den igen.

Huvudfunktioner

Den här mikrofonen kan fästas och användas på en videokamera med en mikrofoningång och en tillbehörssko*.
- När den används med DCR-HC1000 fungerar den här mikrofonen som en surroundmikrofon i läget 4CH MIC. Genom att använda programvara för videoredigering, som t.ex. "Click to DVD Ver. 2.X", kan du skapa DVD-skivor med 5.1-kanalers surroundljud.
- När den är ansluten till en vanlig videokamera som hanterar 2-kanalers stereoinspelning, ger den här mikrofonen bred ljudbild i läget WIDE STEREO.
- Mikrofonen slås på och av med strömbrytaren på videokameran. Du kan inte använda mikrofonen med videokameror som inte har "plug-in-power" (strömförsörjning för mikrofon).

* Om du använder tillbehörsskoadaptern VCT-S30L (köps separat) kan du använda mikrofonen på modeller som saknar tillbehörssko.

Att observera

- Mikrofonen är mycket känslig. Tappa den inte, knacka inte på den eller utsätt den för starka stötar.
- Skydda mikrofonen mot hög temperatur och fuktighet.
- Om mikrofonen placeras nära högtalare kan ibland ett ylande ljud uppstå (akustisk rundgång). Om detta inträffar flyttar du bort mikrofonen så långt som möjligt från högtalarna. Du kan också sänka ljudet från högtalarna.
- Om du under pågående inspelning ändrar läge på mikrofonens omkopplare kan du få med ljudstörningar i inspelningen.
- Kontrollampan för batterierna tänds, men för att spara batterierna slocknar den efter en liten stund.

Innan du börjar använda mikrofonen (se ill. A)

Batteriet är installerat vid leverans från fabriken. Innan du använder mikrofonen tar du bort isoleringen (a) som förhindrar att batteriet laddas ur under transporten.

Byta batteriet (se ill. B)

1 Dra fram batterifacket samtidigt som du trycker på fliken till facket.
2 Ta ur batteriet genom att trycka på batteriets minuspol (sidan som är märkt ⊖).
3 Sätt i ett nytt batteri med pluspolen (sidan som är märkt ⊕) riktad utåt.
4 Tryck tillbaka batterifacket tills den klickar på plats.

Batteribytesintervall

När du ställer om mikrofonens lägesomkopplare blinkar batteriets kontrollampa till. Om batteriets kontrollampa blinkar svagt eller inte blinkar alls betyder det att det är dags att byta ut batteriet mot ett nytt.
Mikrofonen kan användas oavbrutet under ungefär 100 timmar med det medföljande litiumbatteriet CR2032 från Sony. (Driftstiden varierar beroende på användningsförhållandena.)
När du kontrollerar batteriets laddning bör du vänta ungefär 2 sekunder efter det att du ställt om lägesomkopplaren innan du ställer om den igen.

Om batteriet

Hanterar du batteriet felaktigt kan det leda till att det börjar läcka eller spricker. Se till att du följer följande säkerhetsföreskrifter.
- Sätt i batteriet rättvänt, med + och – enligt markeringarna ⊕ och ⊖ i batterifacket.
- Försök inte ladda upp batteriet. Det är inte uppladdningsbart.
- Ta ur batteriet om du vet med dig att du inte kommer att använda mikrofonen under en längre tid.

Om du råkar ut för batteriläckage torkar du bort eventuell batterivätska i batterifacket innan du sätter i ett nytt batteri.
Håll batteriet utom räckhåll för barn; batteriet är litet och kan lätt sväljas. Kontakta genast en läkare om batteriet skulle sväljas.

Anslutning till kompatibel utrustning (se ill. C och D)

Lås fast mikrofonen i videokamerans tillbehörssko med hjälp av tumhjulet (se ill. D). Med videokameran avstängd ansluter du den främre mikrofonkontakten (röd) till kontakten FRONT (röd) och den bakre mikrofonkontakten (svart) till kontakten REAR (svart) på videokameran (läget 4CH MIC), eller anslut bara den främre mikrofonkontakten (röd) till kontakten FRONT (röd) (läget WIDE STEREO). (I läget WIDE STEREO låter du den bakre mikrofonkontakten (svart) vara ansluten till hållaren för den bakre mikrofonkontakten.) (se ill. E)

Obs!
Sätt i mikrofonkontakten ordentligt.

Delarnas namn och deras funktioner (se ill. E)

1 **Lägesomkopplare (se ill. F)**
Välj position efter vilken ljudkälla du spelar in.

4CH MIC	För 4 kanalers mikrofoninspelning. (se ill. F-1)
WIDE STEREO	För inspelning med 2 kanaler och bred ljudbild. (se ill. F-2)

- Läget 4CH MIC
Anslut den främre mikrofonkontakten (röd) till kontakten FRONT (röd) och den bakre mikrofonkontakten (svart) till kontakten REAR (svart) på videokameran.
Genom att använda programvara för videoredigering, som t.ex. "Click to DVD Ver. 2.X", kan du skapa DVD-skivor med 5.1-kanalers surroundljud.
- Läget WIDE STEREO
Anslut bara den främre mikrofonkontakten (röd) till kontakten FRONT (röd) på videokameran. Du behöver inte ansluta den bakre mikrofonkontakten (svart). **Låt den bakre mikrofonkontakten (svart) vara ansluten till hållaren för den bakre mikrofonkontakten. Anslut inte den bakre mikrofonkontakten (svart) till kontakten REAR (svart).**

Obs!
- Under uppspelning slår du av effekten (t.ex. teaterläge eller surroundläge på TV:n eller förstärkaren).
- Om du inte är nöjd med ljudet från högtalarna placerar du om dem så att ljudet blir som du vill ha det.

2 **Batteriets kontrollampa**
När du ställer om lägesomkopplaren blinkar batteriets kontrollampa till för att visa batteriets status. Om batteriets kontrollampa blinkar svagt eller inte blinkar alls betyder det att det är dags att byta ut batteriet mot ett nytt.

3 **Puffskydd**
Sätt puffskyddet på mikrofonen om du vill minska ljudstörningar från blåst eller ljudpuffar under tal.

Obs!
Hantera puffskyddet varsamt eftersom det syntetiska materialet är ganska ömtåligt. Tvätta inte puffskyddet med vatten. Om puffskyddet skulle bli vått torkar du det försiktigt med en hårtork ställd på medelvärme eller så att luften känns varm, men inte het, mot handen.

4 **Kabelklämma**
Dra kabeln genom kabelklämman.

5 **Batterifack**

6 **Tumhjul**

7 **Stereo minikontakt av L-typ**
Främre mikrofonkontakt (röd)
Bakre mikrofonkontakt (svart)

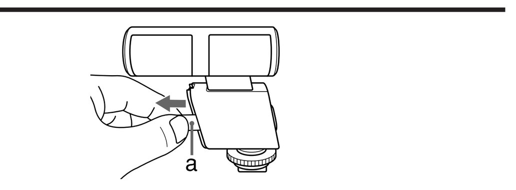
8 **Hållare för bakre mikrofonkontakt**
När du inte använder den bakre mikrofonkontakten (svart) låter du den vara ansluten till hållaren för den bakre mikrofonkontakten.

Tekniska data

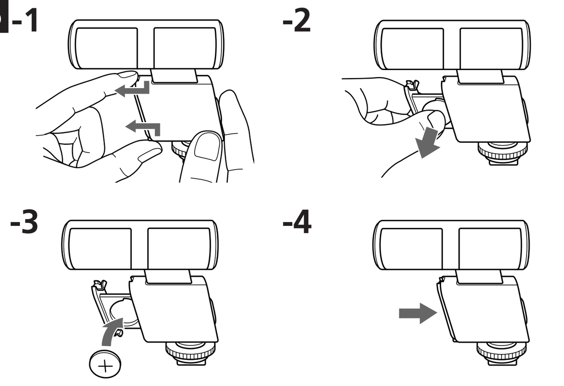
Typ	MS (Mid-Side)-stereosystem
Frekvensåtergivning	150 - 15 000 Hz
Mikrofonkabelns längd	Ca 28 cm
Strömförsörjning	Litiumbatteri (CR2032)
Batteriets livslängd	(vid rumstemperatur) ca 100 timmar (med ett CR2032-batteri i läget 4CH MIC)
Driftstemperatur	0 ºC till 40 ºC
Förvaringstemperatur	–10 ºC till 60 ºC
Ungefärlig storlek	87,8 mm × 91,5 mm × 26,6 mm (flik, tumhjul och kabel ej inräknade)
Vikt	ca 80 g (inklusive batteri)
Medföljande tillbehör	Puffskydd (1), Sony litiumbatteri CR2032 (1) (installerat i mikrofonen), förvaringsväska (1), bruksanvisning (1)
Upptagningsvinkel	främre 90°, bakre 120° (se ill. G)

Rätt till ändringar förbehålles.

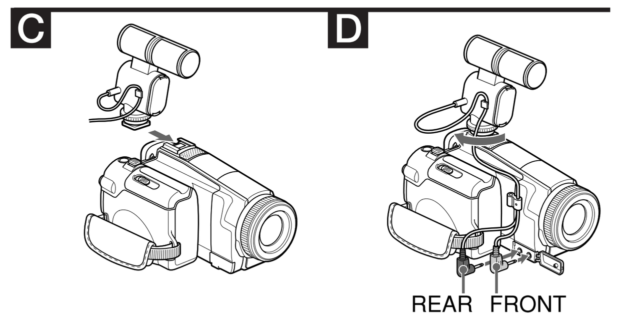
A



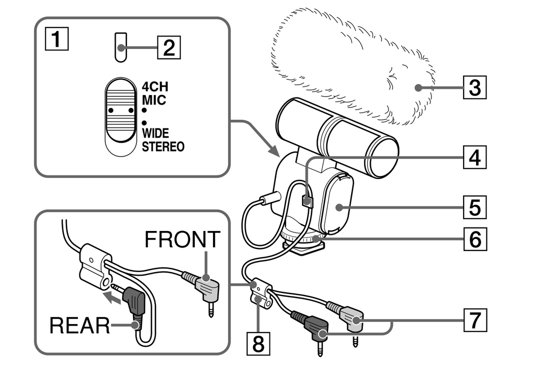
B



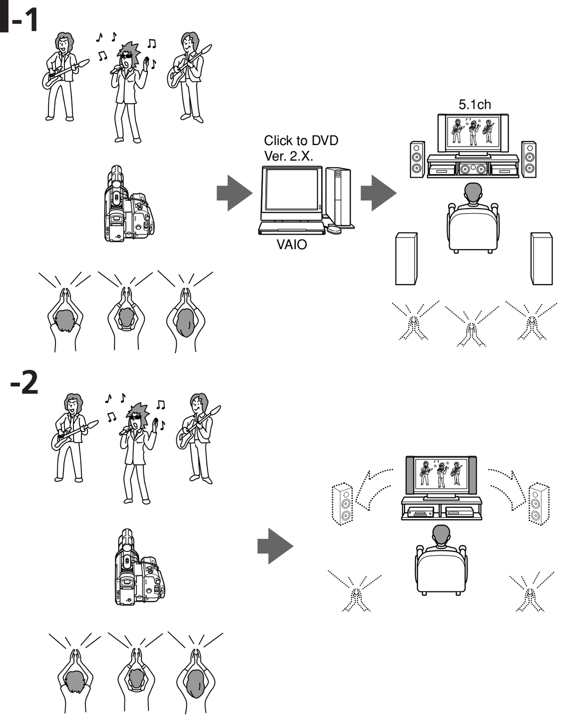
C D



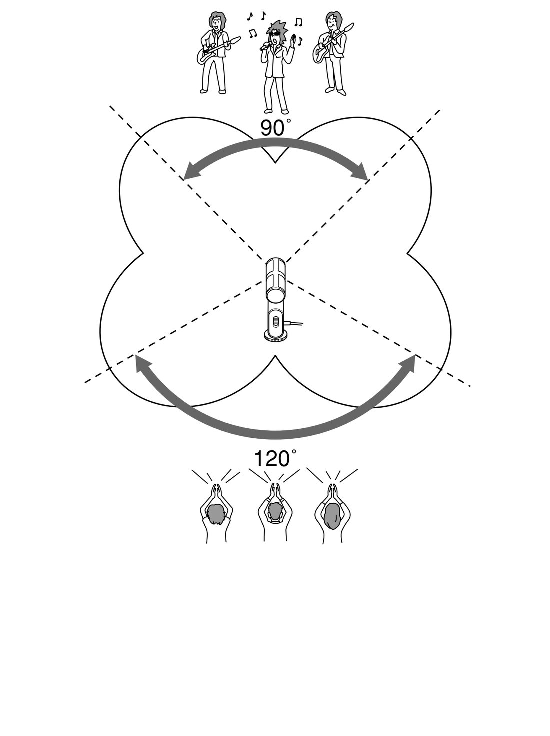
E



F



G



Изготовитель: Сони Корпорейшн
Адрес: 6-7-35 Киташинагава,
Шинагава-ку, Токио 141-0001, Япония
Страна-производитель: Япония

Prima di utilizzare l'apparecchio, leggere attentamente il presente manuale e conservarlo per eventuali riferimenti futuri.

Caratteristiche principali

Questo microfono può essere utilizzato collegandolo ad una videocamera dotata di una presa microfono e un attacco accessori*.

- Se utilizzato con il modello DCR-HC1000, questo microfono funziona da microfono surround nel modo 4CH MIC. Mediante un software di montaggio video quale "Click to DVD Ver. 2.X", è possibile creare un disco DVD surround a 5.1 canali.
- Se utilizzato con una normale videocamera in grado di supportare la registrazione stereo a 2 canali, questo microfono consente di effettuare registrazioni con effetto sonoro più ampio nel modo WIDE STEREO.
- Il microfono viene acceso o spento in base all'impostazione dell'interruttore di alimentazione della videocamera. Non è possibile utilizzare il microfono con una videocamera priva di alimentazione di tipo plug-in.

* Mediante l'adattatore per attacco accessori VCT-S30L opzionale, è possibile utilizzare il microfono con vari modelli senza il collegamento di un attacco accessori.

Precauzioni

- Il microfono è estremamente sensibile. Non lasciarlo cadere, batterlo o sottoporlo a urti eccessivi.
- Tenere il microfono lontano da temperature e umidità eccessivamente elevate.
- Se il microfono si trova in prossimità dei diffusori, è possibile che si verifichi un effetto di ritorno acustico (feedback). In tal caso, collocare il microfono quanto più possibile distante dai diffusori oppure abbassare il volume del diffusore.
- Se durante la registrazione viene modificata l'impostazione dell'interruttore del microfono, è possibile che si verifichino eventuali disturbi.
- La spia di controllo della pila si illumina per alcuni istanti, quindi si spegne immediatamente per motivi di risparmio energetico.

Prima di utilizzare il microfono

(vedere l'illustrazione A)

La pila è preinstallata in fabbrica. Prima di utilizzare il microfono, rimuovere il materiale isolante (a) inserito per evitare che la pila si scarichi.

Sostituzione della pila (vedere l'illustrazione B)

1. Rimuovere il coperchio della pila premendo la linguetta situata sul coperchio stesso.
2. Premere il lato contrassegnato dal simbolo ⊖ per rimuovere la pila.
3. Inserire una pila nuova con il lato contrassegnato da ⊕ rivolto verso l'esterno.
4. Premere il coperchio della pila fino ad udire uno scatto.

Durata della pila

Quando l'impostazione dell'interruttore del microfono viene modificata, la spia di controllo della pila lampeggia per alcuni istanti. Se l'illuminazione della spia durante il lampeggiamento è debole o se la spia non lampeggia affatto, sostituire la pila con una nuova.
Il microfono può essere utilizzato ininterrottamente per circa 100 ore con la pila al litio CR2032 Sony in dotazione. L'autonomia di funzionamento varia in base alle condizioni d'uso.
Se l'impostazione dell'interruttore viene modificata durante il controllo della carica della pila, attendere circa 2 secondi prima di modificare nuovamente tale impostazione.

Note sulla pila

Se la pila non viene utilizzata in modo corretto potrebbe causare perdite di elettrolita o problemi di funzionamento. Assicurarsi di osservare quanto riportato di seguito.

- Installare la pila rispettando la corretta corrispondenza tra i poli + e – della pila e i segni ⊕ e ⊖ dello scomparto della pila.
- Non tentare di ricaricare la pila. Non si tratta di una pila ricaricabile.
- Rimuovere la pila se il microfono non viene utilizzato per un periodo prolungato.

In caso di perdita di elettrolita, asciugare con cura lo scomparto della pila prima di inserirne una nuova.
Tenere la pila fuori dalla portata dei bambini onde evitare che la ingeriscano accidentalmente. Se ingerita, consultare immediatamente un medico.

Collegamento a un apparecchio compatibile

(vedere le illustrazioni C, D)

Fissare il microfono all'attacco accessori della videocamera utilizzando la rotella zigrinata (vedere la figura D). Con la videocamera spenta, collegare la spina anteriore del microfono (rossa) alla presa FRONT (rossa) e la spina posteriore del microfono (nera) alla presa REAR (nera) della videocamera (modo 4CH MIC) oppure collegare solo la spina anteriore del microfono (rossa) alla presa FRONT (rossa) (modo WIDE STEREO). Nel modo WIDE STEREO, inserire la spina posteriore del microfono (nera) nell'apposito fermaspina (vedere la figura E)

Nota
Inserire a fondo la spina del microfono.

Nomi e funzione delle parti (vedere l'illustrazione E)

1 Interruttore di selezione del modo (vedere la figura F)
Consente di impostare la posizione in base alla sorgente audio.

4CH MIC	Per la registrazione con il microfono a 4 canali (vedere la figura F-1)
WIDE STEREO	Per registrazioni a 2 canali stereo con effetto sonoro più ampio (vedere la figura F-2)

- Modo 4CH MIC
  Collegare la spina anteriore del microfono (rossa) alla presa FRONT (rossa) e la spina posteriore del microfono (nera) alla presa REAR (nera) della videocamera.
  Mediante un software di montaggio video quale "Click to DVD Ver. 2.X", è possibile creare un disco DVD surround a 5.1 canali.
- Modo WIDE STEREO
  Collegare solo la spina anteriore del microfono (rossa) alla presa FRONT (rossa) della videocamera. La spina posteriore del microfono (nera) non è necessaria. **Inserire la spina posteriore del microfono (nera) nell'apposito fermaspina. Non collegare la spina posteriore del microfono (nera) alla presa REAR (nera).**

Note
- Durante la riproduzione, disattivare eventuali effetti (ad esempio gli effetti cinema o surround del televisore o dell'amplificatore).
- Se l'audio dei diffusori non appare appropriato, riposizionarli in base alle proprie preferenze.

2 Spia di controllo della pila
La spia di controllo della pila lampeggia per alcuni istanti ad indicare lo stato della pila se l'impostazione dell'interruttore di selezione del modo viene modificata. Se l'illuminazione della spia durante il lampeggiamento è debole o se la spia non lampeggia affatto, sostituire la pila con una nuova.

3 Protezione anti-vento
Collocare sul microfono per ridurre i disturbi causati dal vento o dal respiro.

Nota
Maneggiare la protezione anti-vento con cura, poiché il materiale sintetico di protezione è piuttosto fragile. Non bagnare la protezione anti-vento. Se la protezione anti-vento dovesse bagnarsi, asciugarla con cura utilizzando un asciugacapelli impostato su un valore medio (verificare con una mano che il getto d'aria calda non sia eccessivamente caldo).

4 Morsetto per cavo
Inserire il cavo nell'apposito morsetto.

5 Coperchio della pila

6 Rotella zigrinata

7 Minispina stereo di tipo a L
Spina anteriore del microfono (rossa)
Spina posteriore del microfono (nera)

8 Fermaspina per la spina posteriore del microfono
Quando la spina posteriore del microfono (nera) non viene utilizzata, inserirla nell'apposito fermaspina.

Caratteristiche tecniche

Tipo	Sistema stereo MS (Mid-Side)
Risposta in frequenza	150 - 15.000 Hz
Lunghezza del cavo del microfono	circa 28 cm
Requisiti di alimentazione	Pila al litio (CR2032)
Durata della pila	(a temperatura ambiente) circa 100 ore (con una pila CR2032, nel modo 4CH MIC)
Temperatura di utilizzo	da 0 a 40 °C
Temperature di deposito	da –10 a 60 °C
Dimensioni	circa 87,8 mm × 91,5 mm × 26,6 mm (linguetta, rotella zigrinata e cavo esclusi)
Peso	circa 80 g (pila inclusa)
Accessori in dotazione	Protezione anti-vento (1), pila al litio CR2032 Sony (1) (inserita nel microfono), custodia di trasporto (1), istruzioni per l'uso (1)
Modello di cattura	anteriore 90°, posteriore 120° (vedere la figur G)

Il design e le caratteristiche tecniche sono soggetti a modifiche senza preavviso.

Antes de utilizar o microfone, leia este manual até ao fim e guarde-o para consultas futuras.

Funções principais

Pode montar este microfone numa câmara de vídeo com uma base para acessórios e uma tomada para microfone*.

- Quando utilizado com a DCR-HC1000, este microfone funciona como microfone de surround no modo 4CH MIC. Se utilizar um software de edição de vídeo, como o "Click to DVD Ver. 2.X", pode criar um disco de DVD com surround 5.1 canais.
- Quando montado numa câmara de vídeo vulgar, compatível com gravações estéreo de 2 canais, este microfone permite fazer gravações com uma grande amplitude de som no modo WIDE STEREO.
- O microfone liga-se e desliga-se utilizando o interruptor ligar/desligar da câmara de vídeo. Não pode utilizar o microfone com uma câmara de vídeo sem a função plug-in-power.

* Se utilizar o adaptador de base para acessórios VCT-S30L, pode usar o microfone nos modelos sem base para acessórios.

Precauções

- O microfone é muito sensível. Não o deixe cair nem o sujeite a choques excessivos.
- Não use o microfone em locais muito húmidos e com temperaturas extremamente elevadas.
- Se colocar o microfone perto de altifalantes, pode ouvir um som agudo (feedback acústico). Se isso acontecer, afaste o microfone o máximo possível dos altifalantes ou baixe o volume destes últimos.
- Se mudar a programação do interruptor do microfone durante a gravação, pode provocar ruído.
- O indicador de verificação da pilha acende-se, por momentos, e apaga-se logo a seguir para poupar a carga da pilha.

Antes de utilizar o microfone (Consulte a ilustração A)

A pilha já vem instalada de fábrica. Antes de utilizar o microfone, retire o material isolante (a) colocado na altura do envio, para evitar que a pilha se descarregue.

Substituir a pilha (Consulte a ilustração B)

1. Carregue na patilha da tampa e puxe a tampa para fora.
2. Carregue no lado ⊖ para retirar a pilha.
3. Coloque a nova pilha com o lado ⊕ virado para fora.
4. Empurre a tampa da pilha até fechar com um estalido.

Período de substituição da pilha

Quando muda a posição do interruptor do microfone, a luz de verificação da pilha pisca por momentos. Se o indicador de verificação da pilha piscar com uma luz fraca ou não piscar, substitua a pilha.
Com a pilha de lítio CR2032 da Sony fornecida, o microfone pode funcionar continuamente durante cerca de 100 horas. (O tempo de funcionamento varia com as condições de utilização).
Quando verificar a carga da pilha, espere cerca de 2 segundos depois de mudar a posição do interruptor e antes de voltar a mudá-la.

Notas sobre as pilhas

O manuseamento incorrecto da pilha pode provocar o derramamento do electrólito ou explosão. Tenha em atenção o seguinte.

- Instale a pilha fazendo corresponder correctamente os pólos + e – com as marcas ⊕ e ⊖ existentes no interior do compartimento da pilha.
- Não tente recarregar a pilha. Esta pilha não é recarregável.
- Retire a pilha se não vai utilizar o microfone durante algum tempo.

Se houver derramamento da pilha, limpe bem o electrólito do compartimento da pilha antes de colocar uma nova.
Mantenha a pilha fora do alcance de crianças para evitar que a engulam acidentalmente. Se isso acontecer, consulte imediatamente um médico.

Ligar a um equipamento compatível

(Consulte as ilustrações C, D)

Enrosque o microfone na base para acessórios da câmara de vídeo (consulte a figura D). Com a câmara de vídeo desligada, ligue a ficha (vermelha) da frente do microfone à tomada FRONT (vermelha) e a ficha traseira (preta) do microfone à tomada REAR (preta) da câmara de vídeo (modo 4CH MIC), ou ligue apenas a ficha (vermelha) da frente do microfone à tomada FRONT (vermelha) (modo WIDE STEREO). (No modo WIDE STEREO, deixe a ficha (preta) da parte de trás do microfone no suporte traseiro para a ficha do microfone). (consulte a figura E)

Nota
Introduza completamente a ficha do microfone.

Nomes das peças e funções (Consulte a ilustração E)

1 Interruptor de selecção de modo (consulte a figura F)
Escolha a posição de acordo com a fonte de som.

4CH MIC	Para gravação com um microfone 4ch. (Consulte a figura F-1)
WIDE STEREO	Para uma gravação com grande amplitude de som durante uma gravação estéreo de 2 canais. (Consulte a figura F-2)

- Modo 4CH MIC
  Ligue a ficha (vermelha) da frente do microfone à tomada FRONT (vermelha) e a ficha (preta) da parte de trás do microfone à tomada REAR (preta) da câmara de vídeo.
  Se utilizar um software de edição de vídeo, como o "Click to DVD Ver. 2.X", pode criar um disco de DVD com surround 5.1 canais.
- Modo WIDE STEREO
  Ligue apenas a ficha (vermelha) da parte de frente do microfone à tomada FRONT (vermelha) da câmara de vídeo. A ficha (preta) da parte de trás do microfone não é necessária. **Deixe a ficha (preta) da parte de trás do microfone no suporte respectivo. Não ligue a ficha (preta) da parte de trás do microfone à tomada REAR (preta).**

Notas
- Na reprodução, desactive os efeitos (como modo de teatro ou de surround da televisão ou do amplificador).
- Se não ficar satisfeito com o som das colunas, escolha a posição de acordo com as suas preferências.

2 Indicador de verificação da pilha
O indicador de verificação da pilha pisca, por momentos, para indicar o estado da pilha quando mudar o interruptor de selecção de modo. Se o indicador de verificação da pilha piscar pouco ou mesmo nada, substitua a pilha.

3 Protecção contra o vento
Coloque o microfone de maneira a reduzir o ruído do vento e da respiração.

Nota
Pegue na protecção contra o vento com cuidado, pois a pele sintética é bastante frágil. Não lave a protecção contra o vento com água. Se a protecção contra o vento se molhar, seque-a com cuidado com um secador regulado para médio ou quente (o ar deve ser quente mas sem queimar).

4 Grampo para cabo
Prenda o cabo ao grampo respectivo.

5 Tampa da pilha

6 Rosca

7 Minificha estéreo tipo L
Ficha (vermelha) da parte da frente do microfone
Ficha (preta) da parte de trás do microfone

8 Suporte para a ficha da parte de trás do microfone
Quando não utilizar a ficha (preta) da parte de trás do microfone, não a retire do suporte respectivo.

Especificações

Tipo	Sistema estéreo MS (Mid-Side)
Resposta em frequência	150 - 15.000 Hz
Comprimento do fio do microfone	Aprox. 28 cm
Requisitos de corrente	Pilha de lítio (CR2032)
Duração da pilha	(à temperatura ambiente) Aprox. 100 horas (com a pilha CR2032, no modo 4CH MIC)
Temperatura de funcionamento	0ºC a 40 ºC
Temperatura de armazenamento	–10ºC a 60 ºC
Dimensões	Aprox. 87,8 mm × 91,5 mm × 26,6 mm (excluindo a patilha, a rosca e o fio)
Peso	Aprox. 80 g (incluindo a pilha)
Acessórios fornecidos	Protecção contra o vento (1), Pilha de lítio CR2032 da Sony (1) (instalada no microfone), Bolsa de transporte (1), Manual de instruções (1)
Padrão de captação do som	frontal 90°, traseiro 120° (consulte a figura G)

Design e especificações sujeitos a alterações sem aviso prévio.

Перед началом эксплуатации этого устройства внимательно ознакомьтесь с данной инструкцией и храните ее под рукой на случай, если она вам понадобится.

Основные функции

Это микрофон можно использовать вместе с видеокамерой, оснащенной гнездом для микрофона и держателем для вспомогательных принадлежностей*.

- При использовании DCR-HC1000 этот микрофон служит в качестве микрофона объемного звучания в режиме 4CH MIC. При использовании программного обеспечения для видеомонтажа, например, "Click to DVD Ver. 2.X", можно создать диск DVD с 5.1-канальным объемным звучанием.
- При подключении к обычной видеокамере, поддерживающей запись 2-канального стереозвука, этот микрофон позволяет выполнять запись с широким звуковым полем в режиме WIDE STEREO.
- Этот микрофон включается и выключается при переключении выключателя питания на видеокамере. Нельзя использовать этот микрофон с видеокамерой, которая не имеет разъема для питания от устройства.

* При использовании дополнительного адаптера держателя для вспомогательных принадлежностей VCT-S30L микрофон можно использовать для моделей, не оборудованных держателем для вспомогательных принадлежностей.

Меры предосторожности

- Микрофон - это очень чувствительное устройство. Не роняйте, не ударяйте и не допускайте сильных сотрясений микрофона.
- Не подвергайте микрофон воздействию высоких температур и влажности.
- Если микрофон находится рядом с громкоговорителями, может возникать эффект акустической обратной связи. В этом случае разметите микрофон как можно дальше от громкоговорителей или уменьшите их громкость.
- При изменении положения переключателя во время записи может возникнуть шум.
- Индикатор проверки батарейки загорится ненадолго и вскоре погаснет для экономии энергии.

Перед использованием микрофона (см. рис. A)

Батарейка уже установлена на заводе. Перед использованием микрофона удалите изоляцию, вставленную с целью предотвращения деформации батарейки.

Замена батарейки (см. рис. B)

1. Извлеките крышку батарейки, нажав на выступ на крышке.
2. Нажмите на сторону с ⊖, чтобы извлечь батарейку.
3. Вставьте новую батарейку типа стороной ⊕ наружу.
4. Нажмите на крышку батарейки до щелчка.

Периодичность замены батарейки

Индикатор проверки батарейки кратковременно мигает при изменении положения переключателя микрофона. Если индикатор проверки батарейки мигает тусклым светом или совсем не мигает, замените батарейку.
Продолжительность непрерывной работы микрофона составляет приблизительно 100 часов с прилагаемой литиевой батарейкой Sony CR2032. (Время работы может варьироваться в зависимости от условий использования.)
При проверке заряда батарейки подождите около 2 секунд между изменениями положения выключателя.

Примечания о батарейке

Неправильное использование батарейки может привести к ее утечке или образованию на ней трещин. Соблюдайте следующие инструкции.

- Устанавливайте батарейку таким образом, чтобы ее контакты + и - правильно соответствовали контактам ⊕ и ⊖ внутри отсека для батареек.
- Не пытайтесь перезаряжать батарейку. Она не является перезаряжаемой батарейкой.
- Если микрофон не используется в течение длительного времени, извлеките батарейку.

В случае утечки батарейки тщательно вытрите электролит в отсеке для батареек перед установкой новой батарейки.
Храните батарейку в недоступном для детей месте, чтобы они случайно не проглотили ее. Если батарейка будет случайно проглочена, немедленно обратитесь к врачу.

Подключение к совместимому оборудованию

(см. рис. C, D)

Закрепите микрофон на держателе для вспомогательных принадлежностей видеокамеры с помощью фиксирующего колесика (см. рис. D). Отключив видеокамеру, подключите штекер микрофона переднего канала (красный) к гнезду FRONT (красное), штекер микрофона заднего канала (черный) к гнезду REAR (черное) на видеокамере (режим 4CH MIC) или подключите штекер микрофона переднего канала (красный) к гнезду FRONT (красное) (режим WIDE STEREO). (В режиме WIDE STEREO, подключите штекер микрофона заднего канала (черный) к специальному держателю штекера микрофона.) (см. рис. E)

Примечание
Полностью вставьте штекер микрофона.

Название деталей и их назначение (см. рис. E)

1 Переключатель выбора режимов (см. рис. F)
Определите положение в зависимости от источника звука.

4CH MIC	Для 4-канальной записи с микрофона. (см. рис. F-1)
WIDE STEREO	Для записи с широким звуковым полем во время 2-канальной стереозаписи. (см. рис. F-2)

- Режим 4CH MIC
  Подключите штекер микрофона переднего канала (красный) к гнезду FRONT (красное), штекер микрофона заднего канала (черный) к гнезду REAR (черное) на видеокамере.
  При использовании программного обеспечения для видеомонтажа, например, "Click to DVD Ver. 2.X", можно создать диск DVD с 5.1-канальным объемным звучанием.
- Режим WIDE STEREO
  Подключите штекер микрофона переднего канала (красный) к гнезду FRONT (красное). Штекер микрофона заднего канала (черный) не нужен. **Подключите штекер микрофона заднего канала (черный) к специальному держателю штекера микрофона. Не подключайте штекер микрофона заднего канала (черный) к гнезду REAR (черное) на видеокамере.**

Примечания
- Во время воспроизведения отключите эффекты (например, режим театра или объемный режим на телевизоре или усилителе).
- Если вас не удовлетворило качество звучания громкоговорителей, измените их положение по своему вкусу.

2 Индикатор проверки батарейки
Индикатор проверки батарейки мигает некоторое время, указывая на состояние батарейки после изменения положения переключателя выбора режимов. Если индикатор проверки батарейки мигает тусклым светом или не мигает, замените батарейку.

3 Ветровой экран
Прикрепляется к микрофону, чтобы уменьшить шум ветра или дыхания.

Примечание
Осторожно обращайтесь с ветровым экраном, так как искусственный мех очень непрочный материал. Не мойте ветровой экран в воде. Если ветровой экран намокнет, тщательно просушите его с помощью фена, установленного в режим среднего или умеренного нагрева (поток воздуха должен быть теплым, но не горячим для руки).

4 Зажим для кабеля
Вставьте провод в соответствующий зажим.

5 Крышка батарейки

6 Фиксирующее колесико

7 L-образный мини-стереоштекер
Штекер микрофона переднего канала (красный)
Штекер микрофона заднего канала (черный)

8 Специальный держатель штекера микрофона
Когда штекер микрофона заднего канала (черный) не используется, подключите его к специальному держателю штекера микрофона.

Технические характеристики

Тип	Стереосистема типа MS (Mid-Side)
Диапазон воспроизводимых частот	150 - 15000 Гц
Длина кабеля микрофона	Прибл. 28 см
Требования к питанию	Литиевая батарейка (CR2032)
Срок службы батарейки	(при комнатной температуре) прибл. 100 часов (с батарейкой CR2032, в режиме 4CH MIC)
Рабочая температура	от 0°C до 40 °C
Температура хранения	от -10°C до 60 °C
Размеры	прибл. 87,8 мм x 91,5 мм x 26,6 мм (включая выступ, фиксирующее колесико, кабель)
Масса	прибл. 80 г (включая батарейку)
Прилагаемые принадлежности	Ветровой экран (1), литиевая батарейка Sony CR2032 (1) (установленная в микрофон), пакет для переноски (1), инструкция по эксплуатации (1)
Режим звукоснимателя	спереди 90°, сзади 120° (см. рис. G)

Конструкция и характеристики могут изменяться без предварительного уведомления.

操作本裝置之前，請通讀本手冊並將其保留以備將來參考。

僅適用於台灣

廢電池請回收

主要功能

本麥克風可置於一台帶麥克風插孔和附件滑軌*的攝影機上。

- 當與 DCR-HC1000 使用時，本麥克風當作 4CH MIC 模式的環繞麥克風使用。使用視頻編輯軟體，如"Click to DVD Ver. 2.X"，您可以創建一個 5.1 聲道環繞 DVD 光碟。
- 當安裝到支援 2 聲道立體聲錄製的普通攝影機時，麥克風可以在 WIDE STEREO 模式中實現大攝影棚錄音。
- 當您操作攝影機上的電源開關時，麥克風被打開或關閉。您不能在無插入式通電功能的攝影機上使用本麥克風。

* 使用選購的附件熱靴轉接器 VCT-S30L，麥克風可用於無附件熱靴的機型。

注意事項

- 該麥克風非敘靈敏。不要跌落、敲擊，或受到強烈震動。
- 將麥克風遠離極端高溫和潮濕的地方。
- 如果麥克風放置於揚聲器旁，就可能會產生嘯叫聲（聲學反饋）。如果發生這種情況，就要將麥克風放置於遠離揚聲器的地方，或者降低揚聲器的音量。
- 如果在錄音時改變麥克風開關設定，則可能產生噪音。
- 電池檢測燈瞬時亮起並馬上熄滅以節省電源。

使用麥克風之前 (參見圖 A)

出廠前已經安裝了電池。使用麥克風之前，請取出在運輸中防止電池被壓而插入的絕緣物 (a) 。

更換電池 (參見圖 B)

1. 推蓋子上的小開關的同時拉出電池蓋。
2. 推 ⊖ 極取下電池。
3. 插入一節新電池，使其 ⊕ 極朝外。
4. 推入電池蓋直至發出喀嗒聲。

電池更換週期

切換麥克風開關時，電池檢測燈瞬時閃爍。如果電池檢測燈微弱地閃爍或根本不閃時，請更換新電池。
使用附帶的 Sony CR2032 鋰電池，麥克風可連續工作約 100 小時。（操作時間因使用條件而異。）
確認電池充電時，請在改變開關設定之後再次改變之前等待約 2 秒鐘。

關於電池注意事項

違反電池操作規定會導致其泄漏或破裂。確保遵守以下規定。

- 將電池的 + 極和 – 極正確對準電池槽內的 ⊕ 和 ⊖ 標誌裝入電池。
- 不要試圖將電池充電。其不可充電。
- 如果長時間不使用麥克風，要將電池取出。

万一電池泄漏，在安裝新電池之前要徹底除去電池槽中的電解液。
要將電池放在小孩拿不到的地方以防止意外的吞食。如果發生吞食，請馬上就醫。

連接相容器材 (參見圖 C, D)

用拇指輪將麥克風固定在攝影機的附件熱靴上（參見圖 D）。當攝影機關閉時，將前麥克風插頭（紅色）連接至攝影機的 FRONT（紅色）插孔，並將後麥克風插頭（黑色）連接至 REAR（黑色）插孔（4CH MIC 模式），或僅將前麥克風插頭（紅色）連接至 FRONT（紅色）插孔（WIDE STEREO 模式）。（在 WIDE STEREO 模式中，將後麥克風插頭（黑色）插入麥克風插頭固定孔中的。）（參見圖 E）

注意
完全插入麥克風插頭。

部件名稱及其功能 (參見圖 E)

1 模式選擇開關（參見圖 F）
根據音源決定位置。

4CH MIC	適用於 4 聲道麥克風錄音。（參見圖 F-1）
WIDE STEREO	適用於 2 聲道立體聲錄音時的大攝影棚錄音。（參見圖 F-2）

- 4CH MIC 模式
  將前麥克風插頭（紅色）連接至攝影機的 FRONT（紅色）插孔，並將後麥克風插頭（黑色）連接至 REAR（黑色）插孔。
  使用視頻編輯軟體，如"Click to DVD Ver. 2.X"，您可以建立一個 5.1 聲道環繞 DVD 光碟。
- WIDE STEREO 模式
  僅將前麥克風插頭（紅色）連接至攝影機的 FRONT（紅色）插孔。後麥克風插頭（黑色）不需要。**將後麥克風插頭（黑色）插入後麥克風插頭固定孔中。切勿將後麥克風插頭（黑色）連接至 REAR（黑色）插孔。**

注意
- 在播放過程中，將效果（如電視或放大器的電影院模式或環繞模式）關閉。
- 如果您不滿意揚聲器聲音，則重新配置揚聲器以適合您的喜好。

2 電池檢測燈
當模式選擇開關切換時，電池檢測燈瞬時閃爍以顯示電池狀態。當電池檢測燈微弱地閃爍或根本不閃時，請更換新電池。

3 擋風罩
罩在麥克風上以減少風或呼吸的聲音。

注意
小心使用擋風罩，因為人造軟毛易損壞。切勿用水清洗擋風罩。如果擋風罩變濕，請用設定為中等或暖熱的吹風機小心地吹乾擋風罩（吹在您手上的空氣應是暖，而不是燙）。

4 電線夾
將電線卡在電線夾內。

5 電池蓋

6 拇指輪

7 立體聲迷你型 L 插頭
前麥克風插頭（紅色）
後麥克風插頭（黑色）

8 後麥克風插頭固定孔
當後麥克風插頭（黑色）不使用時，將其插入後麥克風插頭固定孔中。

規格

類型	MS (Mid-Side) 立體聲系統
頻率響應	150-15000Hz
麥克風導線長度	大約 28 cm
電源要求	鋰電池 (CR2032)
電池壽命	（室溫時）約 100 小時（使用 CR2032 電池，在 4CH MIC 模式中）
操作溫度	0°C 至 40°C
存儲溫度	–10°C 至 60°C
尺寸	大約 87.8 mm × 91.5 mm × 26.6 mm（不包括接頭，拇指輪，電線）
重量	大約 80 g（包括電池）
配件	擋風罩 (1)，Sony CR2032 鋰電池 (1)（裝在麥克風內），便攜袋 (1)， 使用說明書 (1)
拾音模式	前 90°，後 120°（參見圖 G）

設計和規格如有改變，恕不另行通知。

操作本装置之前，请通读本手册并将其保留以备将来参考。

主要功能

本麦克风可置于一台带麦克风插孔和附件滑轨*的摄像机上。

- 当与 DCR-HC1000 使用时，本麦克风当作 4CH MIC 模式的环绕麦克风使用。使用视频编辑软件，如"Click to DVD Ver. 2.X"，您可以创建一个 5.1 声道环绕 DVD 光碟。
- 当安装到支持 2 声道立体声录制的普通摄像机时，麦克风可以在 WIDE STEREO 模式中实现大摄影棚录音。
- 当您操作摄像机上的电源开关时，麦克风被打开或关闭。您不能在无插入式通电功能的摄像机上使用本麦克风。

* 使用选购的附件热靴适配器 VCT-S30L，麦克风可用于无附件热靴的机型。

注意事项

- 该麦克风非常灵敏。不要跌落、敲击，或受到强烈震动。
- 将麦克风远离极端高温和潮湿的地方。
- 如果麦克风放置于扬声器旁，就可能会产生啸叫声（声学反馈）。如果发生这种情况，就要将麦克风放置于远离扬声器的地方，或者降低扬声器的音量。
- 如果在录音时改变麦克风开关设定，则可能产生噪音。
- 电池检测灯瞬时亮起并马上熄灭以节省电源。

使用麦克风之前 （参见图 A）

出厂前已经安装了电池。使用麦克风之前，请取出在运输中防止电池被压而插入的绝缘物 (a)。

更换电池 （参见图 B）

1. 推盖子上的小开关的同时拉出电池盖。
2. 推 ⊖ 极取下电池。
3. 插入一节新电池，使其 ⊕ 极朝外。
4. 推入电池盖直至发出喀嗒声。

电池更换周期

切换麦克风开关时，电池检测灯瞬时闪烁。如果电池检测灯微弱地闪烁或根本不闪时，请更换新电池。
使用附带的 Sony CR2032 锂电池，麦克风可连续工作约 100 小时。（操作时间因使用条件而异。）
确认电池充电时，请在改变开关设定之后再次改变之前等待约 2 秒钟。

关于电池注意事项

违反电池操作规定会导致其泄漏或破裂。确保遵守以下规定。

- 将电池的 + 极和 – 极正确对准电池槽内的 ⊕ 和 ⊖ 标志装入电池。
- 不要试图将电池充电。其不可充电。
- 如果长时间不使用麦克风，要将电池取出。

万一电池泄漏，在安装新电池之前要彻底除去电池槽中的电解液。要将电池放在小孩拿不到的地方以防止意外的吞食。如果发生吞食，请马上就医。

连接相容器材 （参见图 C, D）

用拇指轮将麦克风固定在摄像机的附件热靴上（参见图 D）。当摄像机关闭时，将前麦克风插头（红色）连接至摄像机的 FRONT（红色）插孔，并将后麦克风插头（黑色）连接至 REAR（黑色）插孔（4CH MIC 模式），或仅将前麦克风插头（红色）连接至 FRONT（红色）插孔（WIDE STEREO 模式）。（在 WIDE STEREO 模式中，将后麦克风插头（黑色）插入麦克风插头固定孔中的。）（参见图 E）

注意
完全插入麦克风插头。

部件名称及其功能 （参见图 E）

1 模式选择开关（参见图 F）
根据音源决定位置。

4CH MIC	适用于 4 声道麦克风录音。（参见图 F-1）
WIDE STEREO	适用于 2 声道立体声录音时的大摄影棚录音。（参见图 F-2）

- 4CH MIC 模式
  将前麦克风插头（红色）连接至摄像机的 FRONT（红色）插孔，并将后麦克风插头（黑色）连接至 REAR（黑色）插孔。
  使用视频编辑软件，如"Click to DVD Ver. 2.X"，您可以创建一个 5.1 声道环绕 DVD 光碟。
- WIDE STEREO 模式
  仅将前麦克风插头（红色）连接至摄像机的 FRONT（红色）插孔。后麦克风插头（黑色）不需要。**将后麦克风插头（黑色）插入后麦克风插头固定孔中。切勿将后麦克风插头（黑色）连接至 REAR（黑色）插孔。**

注意
- 在播放过程中，将效果（如电视或放大器的电影院模式或环绕模式）关闭。
- 如果您不满意扬声器声音，则重新配置扬声器以适合您的喜好。

2 电池检测灯
当模式选择开关切换时，电池检测灯瞬时闪烁以显示电池状态。当电池检测灯微弱地闪烁或根本不闪时，请更换新电池。

3 档风罩
罩在麦克风上以减少风或呼吸的声音。

注意
小心使用档风罩，因为人造软毛易损坏。切勿用水清洗挡风罩。如果挡风罩变湿，请用设定为中等或暖热的吹风机小心地吹干挡风罩（吹在您手上的空气应是暖，而不是烫）。

4 电线夹
将电线卡在电线夹内。

5 电池盖

6 拇指轮

7 立体声迷你型 L 插头
前麦克风插头（红色）
后麦克风插头（黑色）

8 后麦克风插头固定孔
当后麦克风插头（黑色）不使用时，将其插入后麦克风插头固定孔中。

规格

类型	MS（Mid-Side）立体声系统
频率响应	150-15000Hz
麦克风导线长度	大约 28 cm
电源要求	锂电池（CR2032）
电池寿命	（室温时）约 100 小时（使用 CR2032 电池，在 4CH MIC 模式中）
操作温度	0 °C 至 40 °C
存储温度	–10 °C 至 60 °C
尺寸	约 87.8 mm × 91.5 mm × 26.6 mm（不包括接头，拇指轮，电线）
重量	约 80 g（包括电池）
配件	档风罩（1），Sony CR2032 锂电池（1）（装在麦克风内），便携袋（1），使用说明书（1）
拾音模式	前 90°，后 120°（参见图 G）

设计和规格如有改变，恕不另行通知。

제품을 사용하기 전에 본 사용설명서를 숙독하고 추후 참조를 위해 잘 보관하여 주십시오.

주요 특징

본 마이크는 마이크 단자 및 액세서리 슈*가 있는 비디오 카메라 레코더에 장착하여 사용할 수 있습니다*.

- 본 마이크를 DCR-HC1000과 함께 사용하면 4CH MIC 모드에서 서라운드 마이크의 기능을 합니다. "Click to DVD Ver. 2.X"와 같은 비디오 편집 소프트웨어를 사용하면 5.1채널 서라운드 DVD 디스크를 만들 수 있습니다.
- 2채널 스테레오 녹음을 지원하는 일반 비디오 카메라 레코더에 본 마이크를 부착하면 WIDE STEREO 모드에서 와이드 사운드스테이지 녹음이 가능합니다.
- 비디오 카메라 레코더의 전원 스위치를 사용하여 마이크의 전원을 켜거나 끌 수 있습니다. 본 마이크는 전원 플러그가 없는 비디오 카메라 레코더와 함께 사용할 수 없습니다.

* 옵션품인 액세서리 슈 어댑터 VCT-S30L을 사용하면 액세서리 슈가 없는 모델에서도 본 마이크를 사용할 수 있습니다.

주의사항

- 마이크는 충격에 약합니다. 떨어뜨리거나 두드리거나 심한 충격을 가하지 마십시오.
- 온도와 습도가 매우 높은 장소에 마이크를 보관하지 마십시오.
- 마이크가 스피커 옆에 있는 경우 윙윙거리는 현상(소리의 되울림)이 발생할 수 있습니다. 이러한 경우 마이크를 스피커에서 최대한 멀리 두거나 스피커의 볼륨을 낮춥니다.
- 녹음 중에 마이크의 스위치 설정을 변경하면 노이즈가 발생할 수 있습니다.
- 배터리 확인등은 배터리를 절약하기 위해 잠깐 동안만 불이 들어 온 다음 다시 꺼집니다.

마이크를 사용하기 전에 (그림 A 참조)

배터리는 기본적으로 설치되어 있습니다. 제품 출하 시 배터리를 보호하기 위해 장착된 절연체(a)를 빼낸 다음 마이크를 사용하십시오.

배터리 교체 (그림 B 참조)

1. 배터리 커버의 탭을 밀어서 커버를 엽니다.
2. 배터리의 ⊖ 면을 밀어 배터리를 빼냅니다.
3. ⊕ 면이 밖을 향하도록 하여 새 배터리를 삽입합니다.
4. 찰깍 소리가 날 때까지 배터리 커버를 밉니다.

배터리 교체 시기

마이크의 스위치가 바뀔 때 배터리 확인등에 일시적으로 불이 들어옵니다. 배터리 확인등의 불이 흐리거나 전혀 켜지지 않으면 새 배터리로 교체하십시오.
본 마이크는 부속된 Sony 리튬 배터리 CR2032로 약 100시간 지속적으로 작동합니다. (배터리의 사용 환경에 따라 작동 시간이 다를 수 있습니다.)
배터리 충전 상태를 확인할 때에는 스위치 설정을 바꾼 후 다시 바꾸기 전에 약 2초 가량 기다려 주십시오.

배터리 사용 시 주의 사항

배터리를 잘못 다루면 배터리에서 누액이 새거나 파열될 수 있습니다. 다음 사항을 준수하십시오.

- 배터리의 양극과 음극을 배터리 꽂이 안쪽의 ⊕/⊖ 표시에 맞춰서 넣어 주십시오.
- 배터리를 재충전하지 마십시오. 충전용 배터리가 아닙니다.
- 장시간 배터리를 사용하지 않는 경우 마이크에서 배터리를 빼십시오.

배터리에서 누액이 샌 경우 새 배터리를 설치하기 전에 배터리 꽂이에 묻은 전해액을 깨끗하게 닦아내십시오.
어린이들이 배터리를 삼키는 사고가 발생하지 않도록 어린이 손이 닿지 않는 곳에 배터리를 보관하십시오. 사고로 배터리를 삼켰을 때에는 즉시 의사에게 진단을 받으십시오.

호환 기기에 연결하기 (그림 C, D 참조)

고정 장치를 사용하여 비디오 카메라 레코더의 액세서리 슈에 마이크를 안전하게 부착합니다(그림 D 참조). 비디오 카메라 레코더의 전원을 끈 다음 전면 마이크 플러그(빨강)를 비디오 카메라 레코더의 FRONT(빨강) 단자에, 후면 마이크 플러그(검정)를 REAR(검정) 단자에 연결합니다(4CH MIC 모드). 또는 전면 마이크 플러그(빨강)만 FRONT(빨강) 단자에 연결합니다(WIDE STEREO 모드). (WIDE STEREO 모드에서는 후면 마이크 플러그(검정)를 후면 마이크 플러그 홀더에 끼워 두십시오.) (그림 E 참조)

주의점
마이크 플러그를 완전히 끼우십시오.

부품 이름 및 기능 (그림 E 참조)

1 모드 선택 스위치(그림 F 참조)
음원에 따라 위치를 결정하십시오.

4CH MIC	4채널 마이크 녹음에 사용. (그림 F-1 참조)
WIDE STEREO	2채널 스테레오 녹음 시 와이드 사운드스테이지 녹음에 사용. (그림 F-2 참조)

- 4CH MIC 모드
  전면 마이크 플러그(빨강)를 비디오 카메라 레코더의 FRONT(빨강) 단자에, 후면 마이크 플러그(검정)를 REAR(검정) 단자에 연결합니다.
  "Click to DVD Ver. 2.X"와 같은 비디오 편집 소프트웨어를 사용하면 5.1채널 서라운드 DVD 디스크를 만들 수 있습니다.
- WIDE STEREO 모드
  전면 마이크 플러그(빨강)만 비디오 카메라 레코더의 FRONT(빨강) 단자에 연결합니다. 후면 마이크 플러그(검정)는 필요하지 않습니다. **후면 마이크 플러그(검정)는 후면 마이크 플러그 홀더에 꽂아 두십시오. 후면 마이크 플러그(검정)를 REAR(검정) 단자에 연결하지 마십시오.**

주의점
- 재생 중에는 효과(텔레비전 또는 앰프의 극장 모드 또는 서라운드 모드 등)를 OFF로 설정하여 주십시오.
- 스피커의 사운드가 만족스럽지 않으면 스피커를 취향에 따라 재배치하여 주십시오.

2 배터리 확인등
모드 선택 스위치를 변경할 때 배터리의 상태를 표시하기 위해 배터리 확인등에 일시적으로 불이 들어옵니다. 배터리 확인등의 불이 흐리거나 전혀 켜지지 않으면 새 배터리로 교체하십시오.

3 윈드 스크린
윈드 스크린을 마이크에 부착하면 바람 또는 숨소리를 줄일 수 있습니다.

주의점
윈드 스크린에 사용된 합성모는 매우 섬세하므로 윈드 스크린을 주의해서 다루어 주십시오. 윈드 스크린을 물로 닦지 마십시오. 윈드 스크린이 젖으면 드라이기를 중간 또는 온풍으로 설정하여 조심스럽게 말리십시오(뜨거운 바람이 아니라 따뜻한 바람으로 말려야 합니다).

4 코드 클램프
코드를 코드 클램프에 끼워 주십시오.

5 배터리 커버

6 고정 장치

7 스테레오 미니 L형 플러그
전면 마이크 플러그(빨강)
후면 마이크 플러그(검정)

8 후면 마이크 플러그 홀더
후면 마이크 플러그(검정)는 사용하지 않을 경우 후면 마이크 플러그 홀더에 끼워 두십시오.

주요 제원

종류	MS(Mid-Side) 스테레오 방식
주파수 응답	150 – 15,000 Hz
마이크 코드 길이	약 28 cm
필요 전력	리튬 배터리(CR2032)
배터리 수명	(실내 온도에서) 약 100 시간(CR2032 배터리, 4CH MIC 모드)
작동 온도	0°C에서 40°C
보관 온도	-10°C에서 60°C
크기	약 87.8 mm × 91.5 mm × 26.6 mm (탭, 고정 장치, 코드 제외)
중량	약 80 g(배터리 포함)
부속품	윈드 스크린(1), Sony 리튬 배터리 CR2032(1) (마이크에 설치되어 있음), 휴대 주머니(1), 사용설명서(1)
픽업 패턴	전면 90°, 후면 120°(그림 G 참조)

디자인 및 주요 제원은 사전 통보 없이 변경될 수 있습니다.

قبل تشغيل هذه الوحدة، يرجى قراءة هذا الدليل بعناية والاحتفاظ به كمرجع في المستقبل.

الخصائص المميّزة الرئيسية

هذا المايكروفون يمكن إستعماله مركّباً على كاميرا فيديو تتضمن قابس مايكروفون وقاعدة كماليات*.

- عند الاستعمال مع الموديل DCR-HC1000، يعمل هذا الميكروفون كميكروفون بصوت إحاطة في الوضع 4CH MIC. باستعمال برنامج تحرير فيديو مثل البرنامج "Click to DVD Ver. 2.X" يمكنك عمل اسطوانة DVD بصوت إحاطة بقناة 5.1.
- عند التركيب الى مسجل كاميرا فيديو عادي والذي يساند تسجيل ستيريو ذو قناتين، يسمح لك هذا الميكروفون بتسجيل صوت عريض في الوضع WIDE STEREO.
- يتم تشغيل وإيقاف الميكروفون كلما قمت بتشغيل مفتاح التيار الموجود على مسجل كاميرا الفيديو. لا يمكنك استعمال الميكروفون مع مسجل كاميرا فيديو لا تتضمن قابس موصّل بالتيار.

* باستعمال معدّل قاعدة الكماليات الاختيارية VCT-S30L، يمكن استعمال الميكروفون مع الموديلات التي لا تتضمن قاعدة كماليات.

تنبيهات إحتياطية

- المايكروفون شديد الحساسية. لا تتسبب في سقوطه أو طرقه أو تعريضه لصدمة قوية.
- إحتفظ بالميكروفون بعيداً عن درجات الحرارة العالية الزائدة والرطوبة.
- إذا تم وضع المايكروفون قرب السماعات، فقد يصدر صوت صفير (تغذية رجعية صوتية). إذا حدث ذلك، ضع المايكروفون أبعد ما يمكن عن السماعات أو قم بخفض مستوى صوت السماعة.
- اذا قمت بتغيير تهيئة المفتاح للميكروفون أثناء التسجيل، قد يصدر صوت ضوضاء.
- يضيء مصباح التحقق من البطارية لحظياً وينطفيء فوراً لحفظ طاقة البطارية.

قبل إستعمال المايكروفون (راجع الشكل التوضيحي A)

تم تركيب البطارية مسبقاً في المصنع. قم بنزع العازل (a) الموجود لتجنّب تفريغ شحنة البطارية عند الشحن قبل استعمال الميكروفون.

إستبدال البطارية (راجع الشكل التوضيحي B)

1. إسحب غطاء البطارية للخارج أثناء دفع اللسان الموجود على الغطاء.
2. إدفع الجانب ⊖ لنزع البطارية.
3. قم بإدخال بطارية جديدة مع جعل الجانب ⊕ متجهاً للخارج.
4. إدفع غطاء البطارية الى أن يصدر عنه صوت طقة.

فترة استبدال البطارية

يومض مصباح التحقق من البطارية لحظياً عند تغيير مفتاح الميكروفون. اذا كان مصباح التحقق من البطارية يومض بشكل خافت أو لا يومض أبداً، قم باستبدال البطارية بأخرى جديدة.
بإمكان الميكروفون العمل بصورة مستمرة لمدة ١٠٠ ساعة تقريباً باستعمال بطارية الليثيوم المرفقة من سوني Sony طراز CR2032. (يختلف موعد التشغيل تبعاً لظروف الاستعمال.)
عند التحقق من شحن البطارية، إنتظر لمدة ثانيتين بعد تغيير تهيئة المفتاح قبل تغييره مرة أخرى.

ملاحظات حول البطارية

سوء إستعمال البطارية يمكن أن يتسبب في تسرّب سائلها أو كسرها. تأكد من مراعاة الآتي.

- قم بتركيب البطارية بحيث تكون العلامات + و – مطابقة للعلامات ⊕ و ⊖ داخل حجيرة البطارية.
- لا تحاول أن تشحن البطارية. البطارية غير قابلة للشحن.
- إنزع البطارية إذا كان المايكروفون سيظل دون إستعمال لمدة زمنية طويلة.

في حالة حدوث تسرّب من البطارية، إمسح أي قدر من المحلول الإليكتروليتي متسرّب في حجيرة البطارية لإزالته تماماً قبل تركيب بطارية جديدة.
إحتفظ بالبطارية بعيداً عن متناول الأطفال وذلك لتجنّب قيامهم بإبتلاعها بطريق الخطأ. إذا تم إبتلاع البطارية، قم بإستشارة طبيب على الفور.

التوصيل بجهاز متوافق (راجع الشكلين التوضيحيين C و D)

قم بتأمين الميكروفون على قاعدة الكماليات لمسجل الكاميرا الفيديو بواسطة الدولاب الإبهامي (راجع الرسم التوضيحي D). مع وجود مسجل الفيديو الكاميرا في وضع الإيقاف، قم بتوصيل قابس الميكروفون الأمامي (أحمر) الى المقبس FRONT (أحمر)، وقابس الميكروفون الخلفي (أسود) الى المقبس REAR (أسود) لمسجل الكاميرا الفيديو (الوضع 4CH MIC)، أو قم فقط بتوصيل قابس الميكروفون الامامي (أحمر) الى المقبس FRONT (أحمر) (الوضع WIDE STEREO). (في وضع الستيريو العريض WIDE STEREO، إحتفظ بقابس الميكروفون (أسود) داخل حافظة قابس الميكروفون الخلفي.) (راجع الرسم التوضيحي E)

ملاحظة
قم بإدخال قابس الميكروفون بالكامل

أسماء ووظائف الأجزاء (راجع الشكل التوضيحي E)

1 مفتاح إختيار الوضع (راجع الرسم التوضيحي F)
قم بتحديد الموضع تبعاً لمصدر الصوت.

4CH MIC	لتسجيل صوت ميكروفون 4 قنوات. (راجع الرسم التوضيحي F-1)
WIDE STEREO	لتسجيل مرحلة صوت عريض أثناء التسجيل بوضع ستيريو قناتين. (راجع الرسم التوضيحي F-2)

- الوضع 4CH MIC
  قم بتوصيل قابس الميكروفون الأمامي (أحمر) الى المقبس FRONT (أحمر)، وقابس الميكروفون الخلفي (أسود) الى المقبس REAR (أسود) لمسجل الكاميرا الفيديو.
  باستعمال برنامج التحرير التطبيقي مثل "Click to DVD Ver. 2.X" يمكنك عمل اسطوانة DVD بصوت إحاطة بقناة 5.1.
- الوضع WIDE STEREO
  قم فقط بتوصيل قابس الميكروفون الامامي (أحمر) الى المقبس FRONT (أحمر) لمسجل الكاميرا الفيديو. لا تحتاج الى توصيل قابس الميكروفون (أسود).
  إحتفظ بقابس الميكروفون (أسود) داخل حافظة قابس الميكروفون الخلفي. لا تقم بتوصيل قابس الميكروفون الخلفي (أسود) الى المقبس REAR (أسود).

ملاحظات
- في وضع الاستماع، قم بتهيئة المؤثّر (مثل وضع المسرح أو وضع صوت الإحاطة، للتلفزيون أو لمضخّم الصوت) على وضع الإيقاف.
- إذا لم تكن راضياً عن الصوت الخارج عن السماعات، قم بإعادة ضبطهم حسب ذوقك.

2 مصباح التحقق من البطارية
يومض مصباح التحقق من البطارية لحظياً لبيان حالة البطارية عند تغيير مفتاح إختيار الوضع. عندما يومض مصباح التحقق من البطارية بشكل خافت أو لا يومض أبداً، قم باستبدال البطارية بأخرى جديدة.

3 شاشة الريح
قم بوضعها على الميكروفون لتخفيض ضوضاء الريح أو التنفس.

ملاحظة
قم بالتعامل مع شاشة الريح بعناية حيث أن مادة الفرو الاصطناعية قابلة للإهتراء بسهولة. لا تقم بغسل شاشة الريح بالماء. اذا اصيبت شاشة الريح بالبلل، قم بتجفيفها بعناية باستعمال مجفف هواء مضبوط على وضع الحرارة المتوسط أو الدافئ (يجب أن يكون دفق الهواء دافئاً على يديك، وليس حاراً).

4 مشبك السلك
قم بتثبيت السلك في مشبك السلك.

5 غطاء البطارية

6 دولاب إبهامي

7 قابس ستيريو ميني طراز L
قابس ميكروفون أمامي (أحمر)
قابس ميكروفون خلفي (أسود)

8 حافظة قابس الميكروفون الخلفي
عند عدم استعمال قابس الميكروفون الخلفي (أسود)، إحتفظ به داخل خافظة قابس الميكروفون الموجودة في الخلف.

المواصفات

النوع	نظام ستيريو (جانب متوسط) طراز MS
استجابة التردد	١٥٠ – ١٥٠٠٠ هرتز
طول سلك الميكروفون	٢٨ سم تقريباً
متطلبات الطاقة	بطارية ليثيوم (CR2032)
عمر البطارية	(في درجة حرارة غرفة عادية) ١٠٠ ساعة تقريباً (باستعمال بطارية CR2032، في الوضع 4CH MIC)
درجة حرار التشغيل	صفر° م الى ٤٠° م
درجة حرارة التخزين	– ١٠° م الى ٦٠° م
الابعاد	٨٧,٨ مم× ٩١,٥ مم× ٢٦,٦ مم (باستثناء اللسان، الدولاب الإبهامي، السلك)
الكتلة	٨٠ جم تقريباً (مع البطارية)
الكماليات المرفقة	شاشة الريح (١)، بطارية ليثيوم من سوني Sony طراز CR2032 (١) (مركّبة على الميكروفون)، حقيبة حمل (١)، تعليمات التشغيل (١)
نمط الإلتقاط	أمامي ٩٠°، خلفي ١٢٠° (راجع الرسم التوضيحي G)

التصميم والمواصفات عرضة للتغيير دون إشعار.